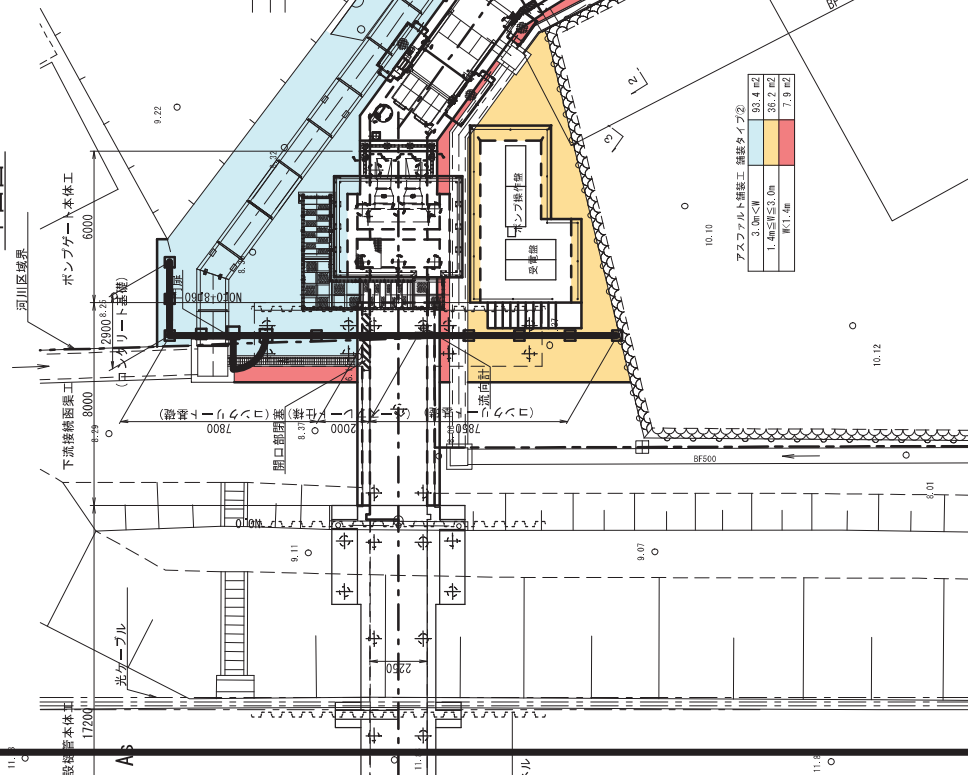


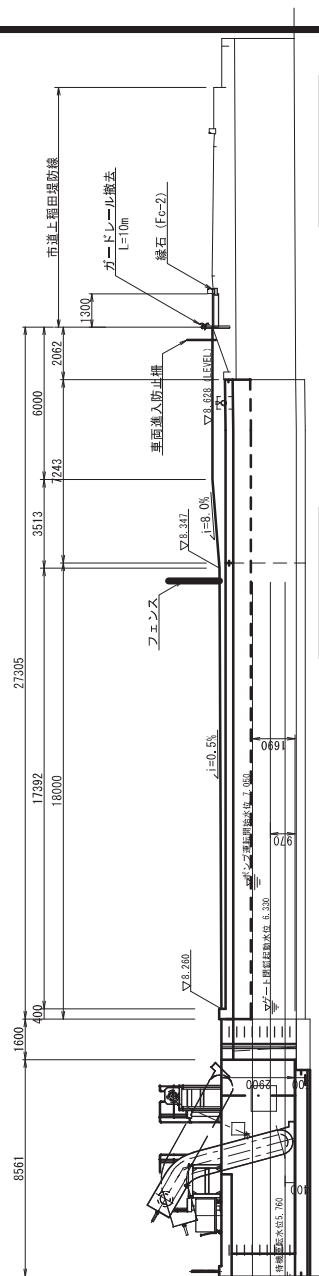
§ 7. 構 内 整 備 工

$S=1:100$

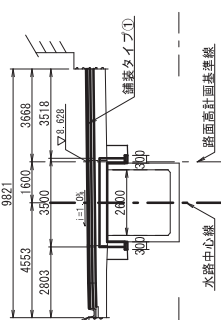
平面图



通路縱断面図

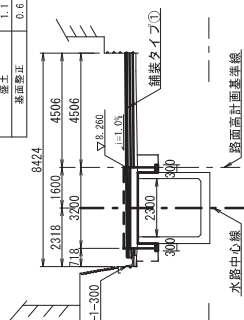


床掘り	1.1 m2
埋戻し	0.8 m2
盛土	4.1 m2
基面整正	0.6 m

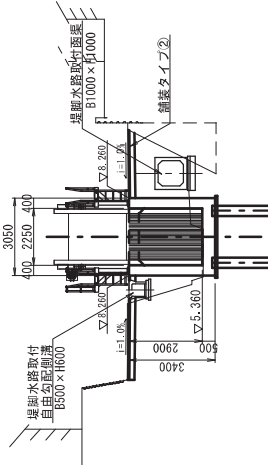
$$\frac{1-1}{(\text{NO. } 1)}$$


床掘り	1.2 m2
埋戻し	0.8 m2
盛土	1.1 m2
基面整正	0.6 m

2-2



3
|
3

アスファルト舗装断面図 $S=1:20$

舗装タイプ①



表層：⑨密粒度アスコン(13F)B t=4cm
路盤：再生クラッシャーラン(RC-40) t=15cm

表層: ⑤密粒度アスコン(新20FH)	t=5cm
上層路盤: 粒調碎石(M-40)	t=12cm
下層路盤: 再生クラッシャーラン(RC-40)	t=12cm

[illegible]

1. アスファルト舗装工
(構内舗装タイプ①)

種 別	算 式	数 量
アスファルト舗装工 (構内舗装タイプ①) 1. 下 層 路 盤 2. 上 層 路 盤 3. 表 層	再生クラッシャーラン(RC-40) t=12cm	= 265.7 m ²
	粒調碎石(M-40) t=12cm	= 265.7 m ²
	⑤密粒度アスコン(新20FH) t=5cm 3.0m<W	= 265.7 m ²

2. アスファルト舗装工
(構内舗装タイプ②)

種 別	算 式	数 量
アスファルト舗装工 (構内舗装タイプ②)		
1. 路 盤	再生クラッシャーラン(RC-40) t=15cm $93.4 \text{ m}^2 + 36.2 \text{ m}^2 + 7.9 \text{ m}^2 =$	137.5 m^2
2. 表 層	⑨密粒度アスコン(13F) t=4cm $3.0\text{m} < W$ =	93.4 m^2
	1.4m $\leq W \leq 3.0\text{m}$ =	36.2 m^2
	$W < 1.4\text{m}$ =	7.9 m^2

3. アスファルト舗装工
(乗入舗装)

種 別	算 式	数 量
アスファルト舗装工 (乗 入 舗 装)		
1. 下 層 路 盤	再生クラッシャーラン(RC-40) t=12cm =	12.6 m ²
2. 上 層 路 盤	粒調碎石(M-40) t=12cm =	12.6 m ²
3. 表 層	⑤密粒度アスコン(新20FH) t=5cm W<1.4m =	12.6 m ²

4. 側 溝 工

種 別	算 式	数 量
<p>側 溝 工</p> <p>1.ベンチフリューム</p>	<p>BF- I -300 =</p>	<p>31.0 m</p>

5. 防止柵工（進入口）

種 別	算 式	数 量
防 止 柵 工 (進 入 口)		
1.車両進入防止柵	着脱式 B=1.0m =	5 本
2. フ ェ ン ス	コンクリート基礎 =	4.7 m
3. 門 扉	=	1 式
4.コンクリート基礎	B300×L300×H450 フェンス =	4 箇所
	B300×L300×H400 門扉 =	1 箇所
	B550×L550×H700 門扉 =	2 箇所
	B300×L300×H400 車両進入防止柵 =	10 箇所

6. 防止柵工（堤防境界部）

種 別	算 式	数 量
防 止 柵 工 (堤 防 境 界 部)		
1. フ ェ ン ス	コンクリート基礎仕様 2.90 + 7.80 + 7.85 = ベースプレート仕様 =	18.6 m 2.0 m
2. 門 扉	=	1 式
3.コンクリート基礎	B300×L300×H450 フェンス =	9 箇所
	B400×L400×H500 門扉 =	2 箇所

7. 縁 石 工

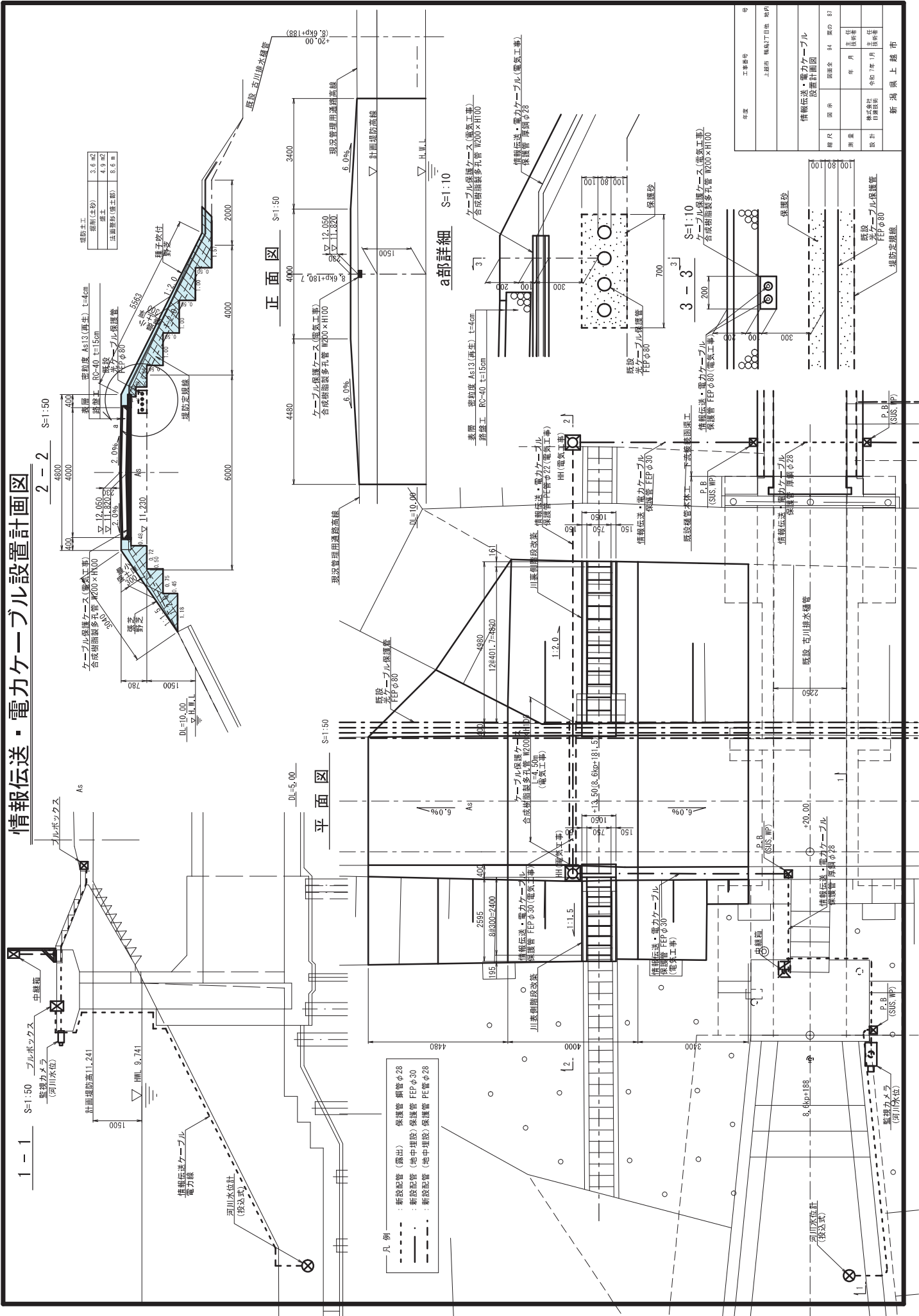
種 別	算 式	数 量
縁 石 工		
1. 縁 石	Fc-2 ---10m当り数量--- 基礎碎石(RC-40) t=10cm 0.27 × 10.00 縁石 10.00 ÷ 1.00 m/個	= 9.5 m = 2.7 m ² = 10 個
2. エプロン復旧	コンクリート 0.01 m ² × 9.50	= 0.1 m ³

§ 8. 堤防嵩上げ工

1. 堤 防 土 工

種 別	算 式	数 量
堤 防 土 工	堤防延長 $L = 4.48 + 4.00 + 3.40 = 11.9 \text{ m}$	
1. 掘 削 (土 砂)	$3.6 \text{ m}^2 \times 11.9 =$	42.8 m^3
2. 盛 土 B<2.5m	$4.9 \text{ m}^2 \times 11.9 =$	58.3 m^3
3. 法 面 整 形 (盛 土 部)	機械 $8.6 \times (11.9 - 1.1) =$ 階段	92.9 m^2

図画設計・電力ケーブル伝送情報



2. 植 生 工

種 別	算 式	数 量
植 生 工	堤防延長 $L = 4.48 + 4.00 + 3.40 - 1.05 = 10.83 \text{ m}$	
1. 張 芝	$3.04 \times 10.83 =$	32.9 m ²
2. 種 子 吹 付	$5.56 \times 10.83 =$	60.2 m ²

3. 堤 防 天 端 鋪 装 工

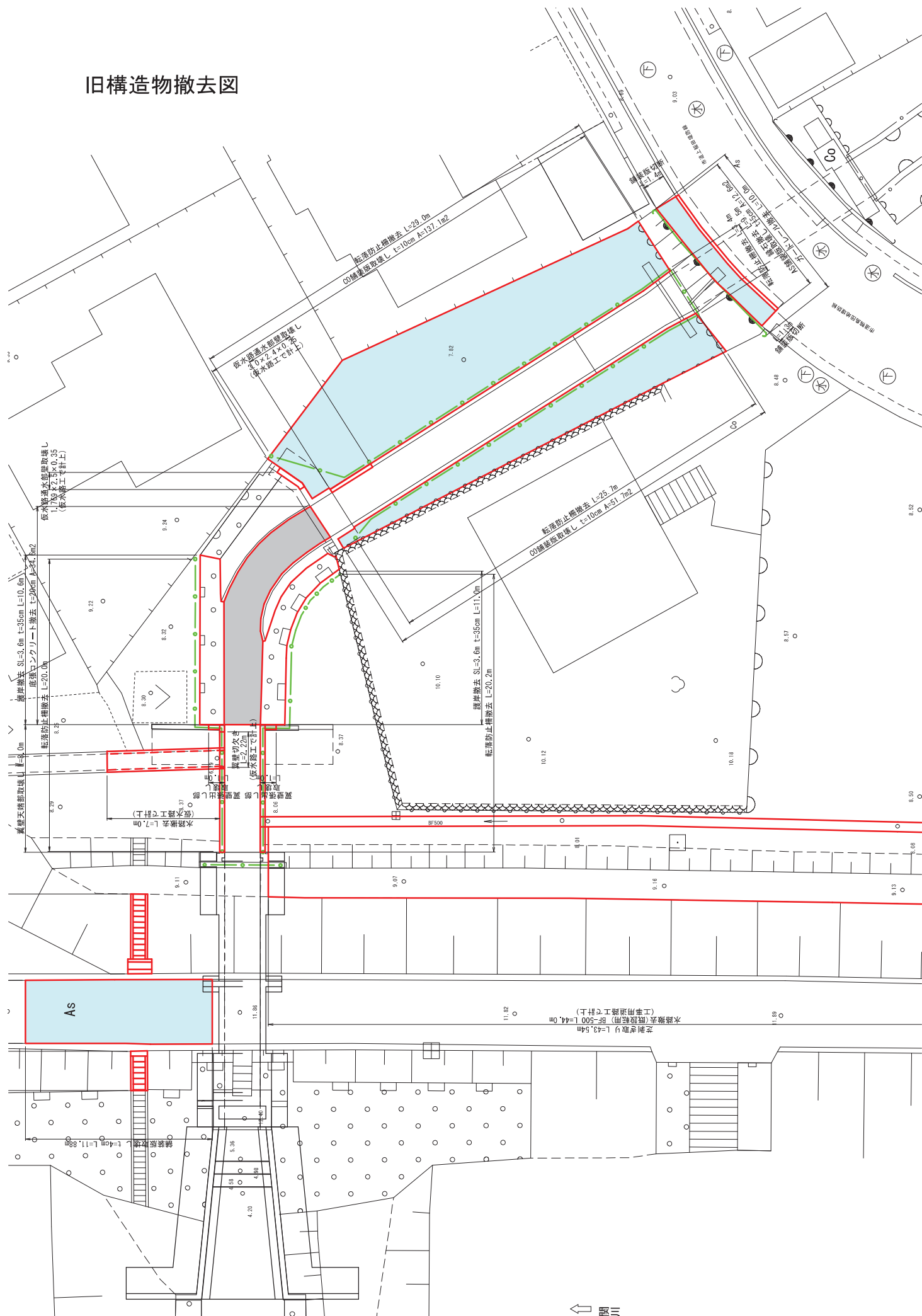
種 別	算 式	数 量
堤防天端舗装工	堤防延長 $L = 4.48 + 4.00 + 3.40 = 11.9 \text{ m}$	
1. 路 盤	RC-40 t=15cm $4.1 \times 11.9 =$	48.8 m^2
2. 表 層	密粒度 As13(再生) t=4cm $3.0\text{m} < W$ $4.0 \times 11.9 =$	47.6 m^2

4. 堤防管理階段工

種 別	算 式	数 量
堤防管理階段工		
1. 再 生 砕 石 RC-40 t=20cm	川表側 (0.409 + 3.065) × 1.25 =	4.3
	川裏側 (0.429 + 5.563 + 0.170) × 1.25 =	7.7
	計	12.0 m ²
2. コ ン ク リ ー ト	川表側	
	1/2 × (0.40 + 0.31) × 0.30 × 1.05 =	0.1
	1/2 × (3.12 + 3.07) × 0.30 × 1.05 =	1.0
	控除 1/2 × 0.30 × 0.20 × 0.75 × 8 =	-0.2
	〃 1/2 × 0.20 × 0.13 × 0.75 × 1 =	0.0
	川裏側	
	1/2 × (0.40 + 0.33) × 0.30 × 1.05 =	0.1
	5.56 × 0.30 × 1.05 =	1.8
	1/2 × 0.07 × 0.30 × 1.05 =	0.0
	控除 1/2 × 0.40 × 0.20 × 0.75 × 12 =	-0.4
	〃 1/2 × 0.16 × 0.08 × 0.75 × 1 =	0.0
	計	2.4 m ³
3. 型 枠 一般型枠	川表側	
	1/2 × (0.40 + 0.31) × 0.30 × 2 =	0.2
	1/2 × (3.12 + 3.07) × 0.30 × 2 =	1.9
	1/2 × 0.30 × 0.20 × 8 × 2 =	0.5
	1/2 × 0.20 × 0.13 × 1 × 2 =	0.0
	0.30 × 1.05 + 1.73 × 0.75 =	1.6
	3.12 × 0.15 × 2 =	0.9
	川裏側	
	1/2 × (0.40 + 0.33) × 0.30 × 2 =	0.2
	5.56 × 0.30 × 2 =	3.3
	1/2 × 0.07 × 0.30 × 2 =	0.0
	1/2 × 0.40 × 0.20 × 12 × 2 =	1.0
	1/2 × 0.16 × 0.08 × 1 × 2 =	0.0
	(0.30 + 0.30) × 1.05 + 2.48 × 0.75 =	2.5
	5.56 × 0.15 × 2 =	1.7
	計	13.8 m ²

1. 防 護 柵 撤 去 工

旧構造物撤去図



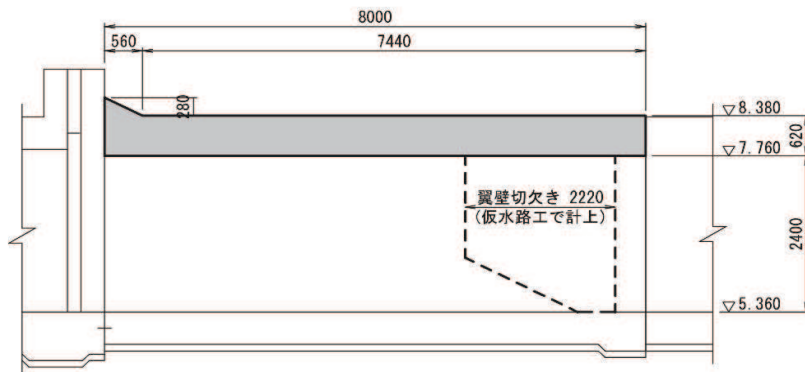
1. 防 護 柵 撤 去 工

種 別	算 式	数 量
防 護 柵 撤 去 工		
1. 防 護 柵 撤 去 (ガ ー ド レ ー ル)	=	10.0 m
2. 防 護 柵 撤 去 (転 落 防 止 柵)	20.00 + 20.20 + 29.00 + 25.70 + 3.40 =	98.3 m

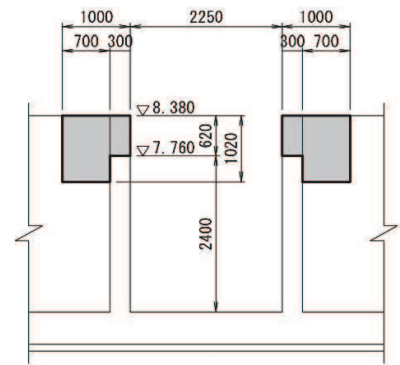
2. 構造物取壊し工

翼壁天端部・張出し部取壊し図

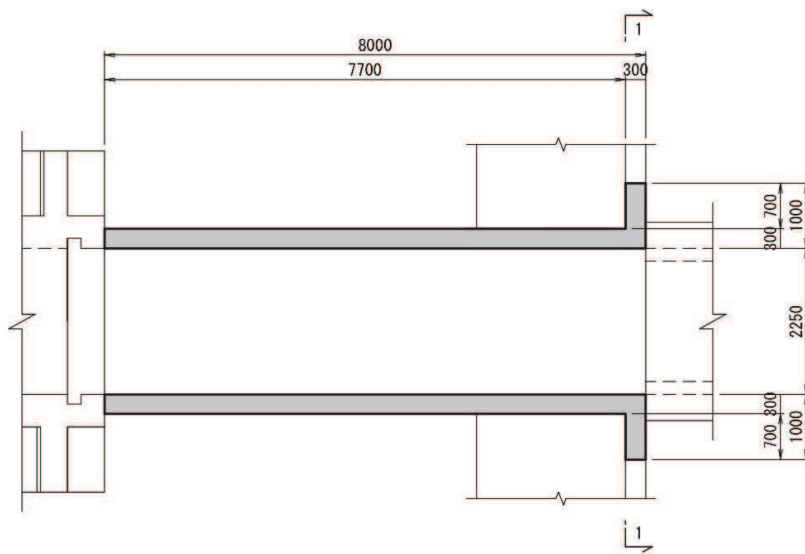
側面図



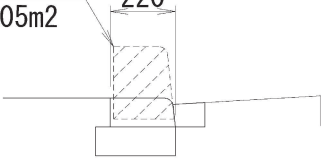
1 - 1



平面図



3. 縁石撤去工

種 別	算 式	数 量
緑 石 撤 去 工		
1. 緑 石 撤 去	<div> 取壊し体積 0.05 m² × 9.50 = 9.5 m </div> <div> = 0.5 m³ </div>	
2 ガ ラ 処 分	<div> 無筋構造物 0.5 m³ × 2.35 t/m³ = 1 t </div>	
	<div> 既設縁石撤去 A=0.05m² </div> 	

§ 10. 仮 設 工

1. 工事用道路工（設置工）

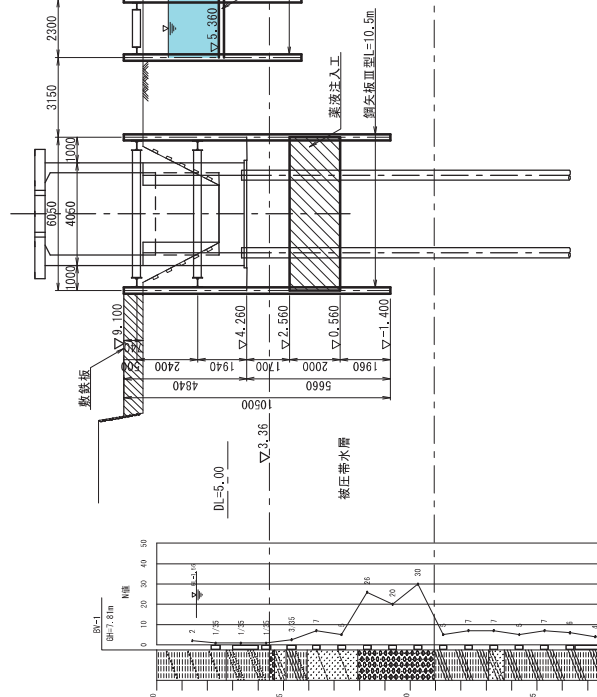
種 別	算 式	数 量
工 事 用 道 路 工 (設 置 工)		
1. 既 設 水 路 撤 去	BF-500 既設転用 =	44.0 m
2. 高 密 度 ポ リ エ チ レ ン 管	φ 500 =	44.0 m
3. 芝 剥 ぎ 取 り	4.68 × 43.54 =	203.8 m ²
4. 土 木 シ ー ト	4.13 × 43.54 =	179.8 m ²
5. 盛 土	2.0 m ² × 39.00 + 6.4 m ² × 8.50 =	132.4 m ³
6. 敷 鉄 板 22×1524×6096	3.048 × 39.00 + 3.048 × 25.00 =	195.1 m ²
7. 敷 砂 利 RC-40 t=10cm	11.50 × 8.50 =	97.8 m ²

仮設構造物・施工計画概要図 (2/2)

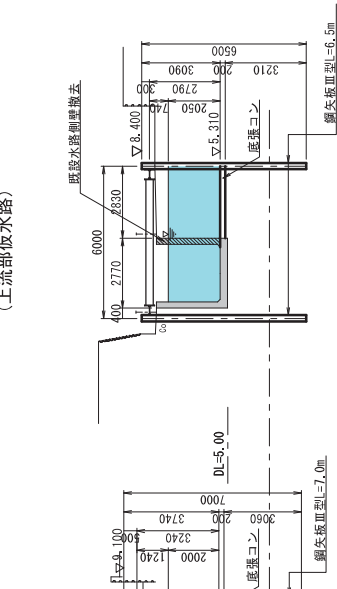
S=1:150

1-1

(ポンプゲート本体工部～下流部仮水路)

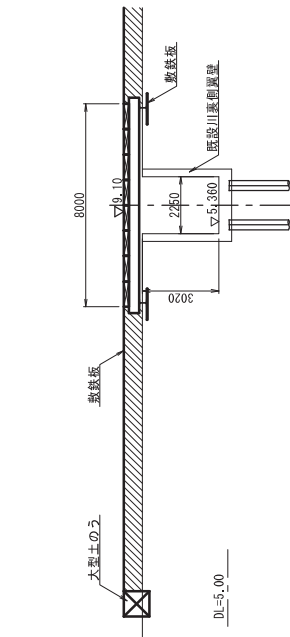


3-3
(上流部仮水路)

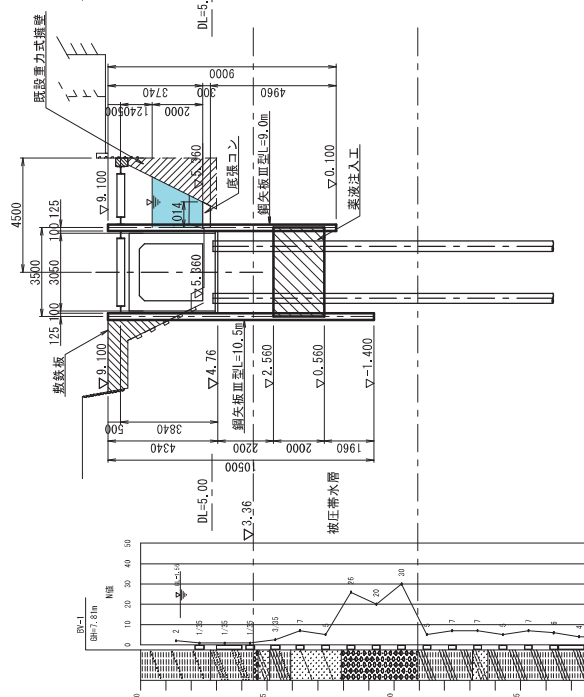


5-5

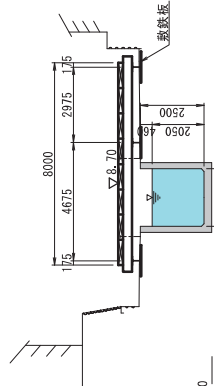
(川裏側翼壁横断面)



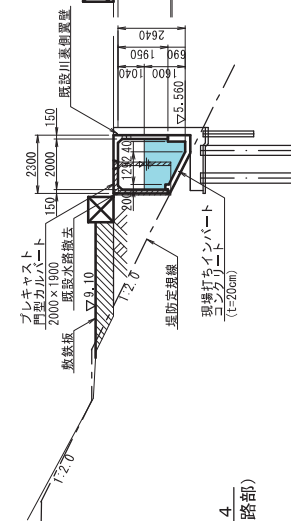
2-2
(除塵施設工部)



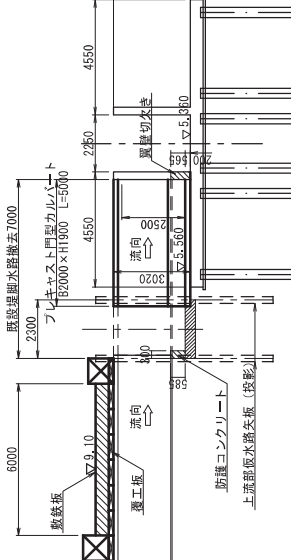
4-4
(取付水路部)



6-6
(仮水路堤脚水路改築部)

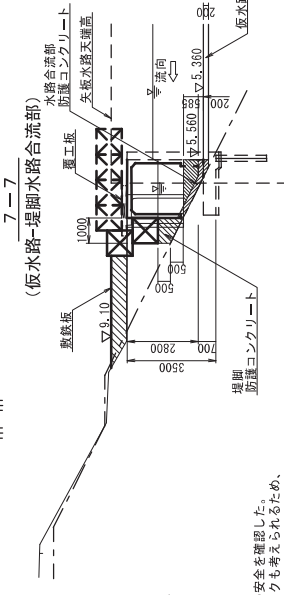


8-8



7-7

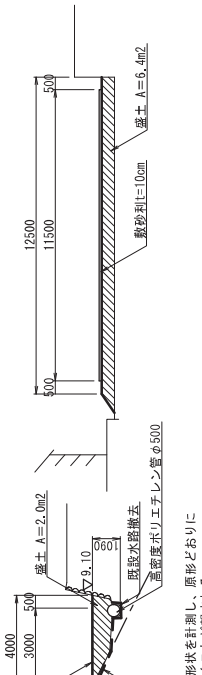
(仮水路・堤脚水路合流部)



9-9
(堤脚部工事用道路)



10-10
(工事用道路アプローチ部)

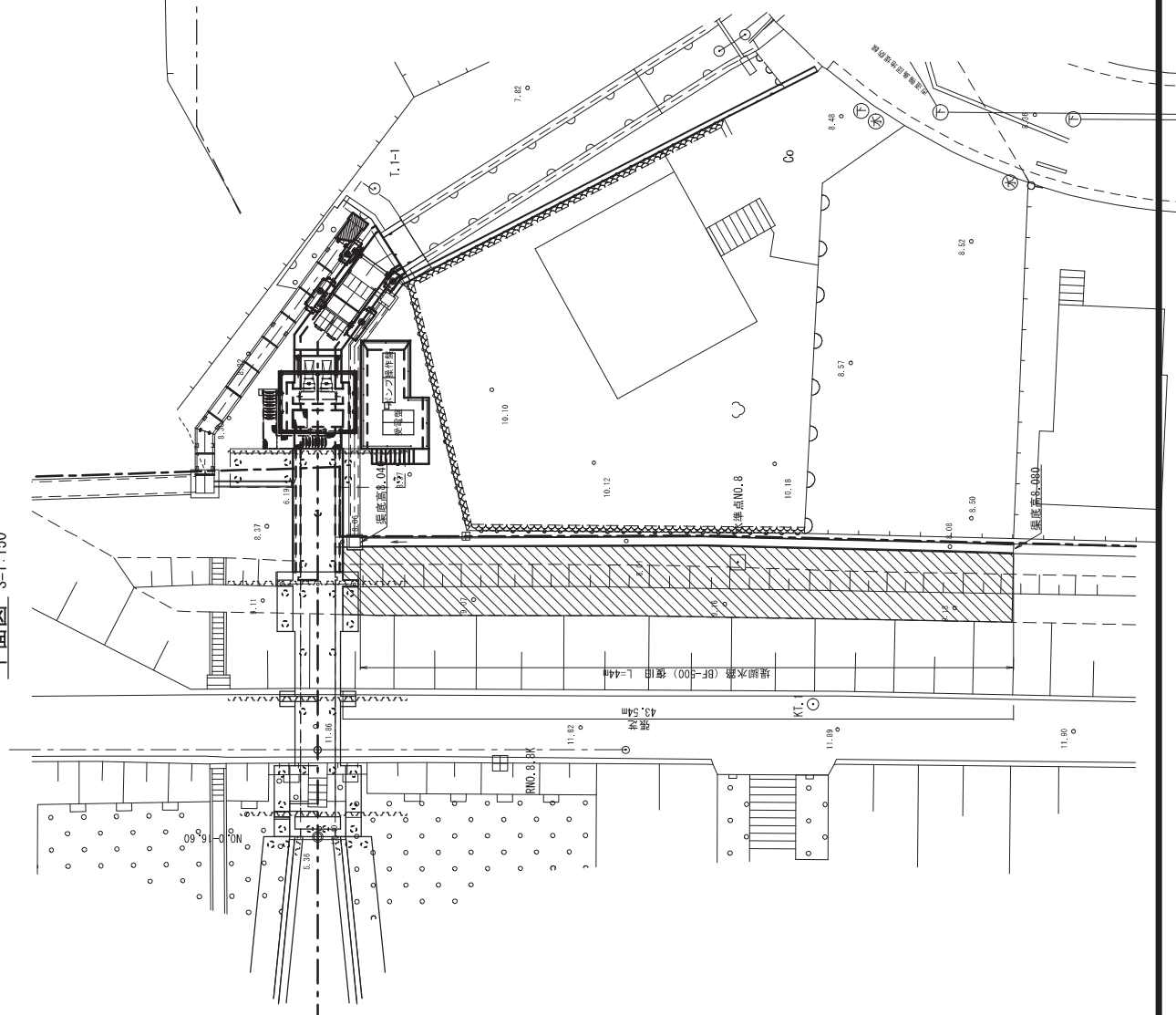


名称	工事番号	号
上流部 橋梁27目地	地所	
仮設構造物・施工計画概要図 (2/2)		
縮尺	1:150	図面全 55 張の 55
測量		主 注 明 書
設計		年 月 主 注 明 書
		令和 7 年 1 月 主 注 明 書
		株式会社 白根技術
		新潟県上越市

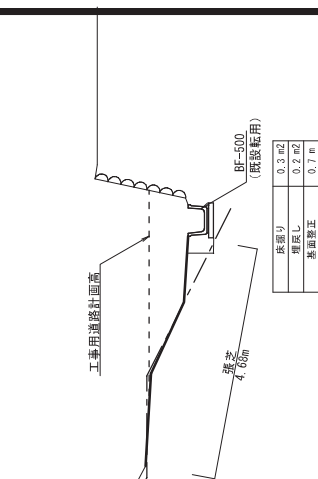
※、工事用道路の盛土を行う前に堤防の形状を計測し、原形どおりに復旧できるようにデータを保管しておくことが望まれる。

工事用道路撤去後 堤脚部復旧計画図

平面图 $S=1:150$

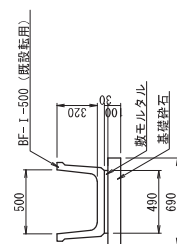


断面图
S=1:50



※、堤脚部の復旧は、工事用道路の盛土を行う前に計測した形状に復元すること。

BF-500

[illegible]

2. 工事用道路工
(撤去及び復旧工)

種 別	算 式	数 量
工 事 用 道 路 工 (撤去及び復旧工)		
1. 高 密 度 ポリ エチレン管撤去	$\phi 500$ =	44.0 m
2. 土 木 シ ー ト 撤 去	4.13×43.54 =	179.8 m ²
3. 掘 削	工事用道路盛土より =	132.4 m ³
4. 敷 鉄 板 撤 去 22×1524×6096	$3.048 \times 39.00 + 3.048 \times 25.00$ =	195.1 m ²
5. 床 掘 り	土砂 $0.3 \text{ m}^2 \times 44.0$ =	13.2 m ³
6. 埋 戻 し	W1<1m $0.2 \text{ m}^2 \times 44.0$ =	8.8 m ³
7. 基 面 整 正	0.70×44.0 =	30.8 m ²
9. 既 設 水 路 復 旧	BF-500 既設転用 =	44.0 m
	---10m当り数量---	
	基礎碎石(RC-40) t=10cm 0.69×10.00 =	6.9 m ²
	敷モルタル $0.49 \times 0.03 \times 10.00$ =	0.1 m ³
	ベンチフリューム 既設転用 $10.00 \div 2.00 \text{ m/個}$ =	5 個
10. 張 芝	4.68×43.54 =	203.8 m ²

3. 川裏側翼壁部仮橋工

種 別	算 式	数 量
川 裏 側 翼 壁 部 仮 橋 工		
1. 覆 工 板	MD-1000×2000×211 設置・撤去 2×8 =	16 枚
2. 主 桁	H-400×400×13×21 設置・撤去 $8.500 \times 3 \times 172.0$ kg/m =	4,386 kg
3. 覆 工 板 止 め	[-200×80×7.5×11 設置・撤去 (8.000 + 4.000) × 2 × 24.6 kg/m =	590 kg
4. 桁 受	H-300×300×10×15 設置・撤去 $5.000 \times 2 \times 93.0$ kg/m =	930 kg
5. 締 結 金 具	ロックマンH1型 設置・撤去 $3 \times 2 \times 4$ =	24 本
6. 敷 鉄 板	PL-22×1524×6096 設置・撤去 =	2 枚
※設置・撤去の回数は2回分であり、上記数量は1回分の数量を計上。		

4. 取 付 水 路 部 覆 工

種 別	算 式	数 量
取付水路部覆工		
1. 覆 工 板	MD-1000×2000×211 設置・撤去 1 × 8 =	8 枚
	MD-1000×3000×211 設置・撤去 7 × 8 =	56 枚
2. 主 桁	H-350×350×12×19 設置・撤去 8.500 × 9 × 135.0 kg/m =	10,328 kg
3. 覆 工 板 止 め	[-200×80×7.5×11 設置・撤去 (8.000 + 23.000) × 2 × 24.6 kg/m =	1,525 kg
4. 桁 受	H-350×350×12×19 設置・撤去 24.000 × 3 × 135.0 kg/m =	9,720 kg
5. 締 結 金 具	ロックマンH1型 設置・撤去 9 × 3 × 4 =	108 本
6. 敷 鉄 板	PL-22×1524×6096 設置・撤去 =	12 枚

5. 仮 締 切 擁 壁 工
(下 流 仮 締 切)

種 別	算 式	数 量
仮 締 切 擁 壁 工 (下 流 仮 締 切)		
1. コ ン ク リ ー ト	$(1.80 \times 0.20 + 0.40 \times 1.30) \times 2.25 =$	2.0 m ³
2. 型 枠 一般型枠	$1.50 \times 2 \times 2.25 =$	6.8 m ²
3. 鉄 筋 SD345 D13	$2.90 \times 10 \times 0.995 \text{ kg/m} =$	29
	$1.65 \times 10 \times 0.995 \text{ kg/m} =$	16
	$2.05 \times 14 \times 0.995 \text{ kg/m} =$	29
	計	74 kg
4. 土 木 シ ー ト	$1.80 \times 2.25 =$	4.1 m ²
5. コ ン ク リ ー ト 構 造 物 取 壊 し	鉄筋構造物 コンクリートより $=$	2.0 m ³
6. ガ ラ 処 分	鉄筋構造物 $2.0 \text{ m}^3 \times 2.50 \text{ t/m}^3 =$	5 t

6. 仮 締 切 擁 壁 工
(上 流 仮 締 切)

種 別	算 式	数 量
仮締切擁壁工 (上流仮締切)		
1. コンクリート	$1/2 \times (0.40 + 1.10) \times 2.05 \times 2.30 =$	3.5 m ³
2. 型 枠 一般型枠	$(2.05 + 2.17) \times 2.30 =$	9.7 m ²
3. 土 木 シ ー ト	$1.10 \times 2.30 =$	2.5 m ²
4. コンクリート 構 造 物 取 壊 し	無筋構造物 コンクリートより $=$	3.5 m ³
5. ガ ラ 処 分	無筋構造物 $3.5 \text{ m}^3 \times 2.35 \text{ t/m}^3 =$	8 t

7. 仮 設 土 留 工

種 別	算 式	数 量
仮 設 土 留 工		
1. 鋼 矢 板 打 込	鋼矢板Ⅲ型 L=10.5m 打込長 L=9.8m	
	枚数 = 43 枚	
	質量 10.50 × 43 × 60.0 kg/m = 27,090 kg	
	鋼矢板Ⅲ型 L=9.0m 打込長 L=5.4m	
	枚数 = 26 枚	
	質量 9.00 × 26 × 60.0 kg/m = 14,040 kg	
	鋼矢板Ⅲ型 L=4.0m 打込長 L=1.5m	
	枚数 = 2 枚	
	質量 4.00 × 2 × 60.0 kg/m = 480 kg	
2. 鋼 矢 板 切 断	鋼矢板Ⅲ型 71 × 0.40 矢板全枚数	= 28.4 m
3. 鋼矢板スクラップ	鋼矢板Ⅲ型	
	1.000 × (26 + 13) × 60.0 kg/m = 2,340	
	1.500 × (14 + 16) × 60.0 kg/m = 2,700	
	堤脚水路合流部	
	右側 (3.407 - 1.00) × 1.80 × 60.0 kg/m = 260	
	左側 (2.14 - 1.00) × 1.20 × 60.0 kg/m = 82	
	計	5,382 kg
4. 支 保 (一時撤去有り)	鋼矢板Ⅲ型	
	1.000 × (1 + 1) × 60.0 kg/m = 120 kg	
	設置・撤去 主部材 仮設土留め部(1段目)	= 5,868 kg
	副部材(A) 5868 kg × 0.22 = 1,291 kg	
5. 支 保 (一時撤去無し)	副部材(B) 5868 kg × 0.04 = 235 kg	
	設置・撤去 主部材 仮設土留め部小計	= 8,558 kg
	副部材(A) 8558 kg × 0.22 = 1,883 kg	
	副部材(B) 8558 kg × 0.04 = 342 kg	
6. ス ル ー サ	H30-W50	= 4 個

種 別	算 式	数 量
7. モルタル充填 無収縮モルタル	スルーサ $0.50 \times 0.45 \times 0.08 \times 2 \times 4 =$	0.1 m ³
8. 圧入機据付回数	据付位置は、仮水路工に添付 $=$	2 回
9. 親 杭	H-300×300×10×15	
	(2.000 + 4.500) × 2 × 93.0 kg/m $=$	1,209
	(2.500 + 4.000) × 2 × 93.0 kg/m $=$	1,209
	計	2,418 kg
10. 親 杭 撤 去	H-300×300×10×15	
	(0.720 + 4.500 × 2 + 2.000) × 93.0 kg/m $=$	1,090
	(2.500 + 4.000) × 2 × 93.0 kg/m $=$	1,209
	計	2,299 kg
11. 横 矢 板	松板t=3cm 設置・撤去	
	面積 0.28 × 1.29 $=$	0.4 m ²
	体積 0.4 m ² × 0.03 $=$	0.01 m ³
	重量 0.01 m ³ × 0.8 t/m ³ $=$	0.01 t
	松板t=4cm 設置・撤去	
	面積 1.26 × 0.72 × 2 $=$	1.8 m ²
	体積 1.8 m ² × 0.04 $=$	0.1 m ³
	重量 0.1 m ³ × 0.8 t/m ³ $=$	0.1 t
	松板t=12cm 設置・撤去	
	面積 2.50 × 3.74 + 2.50 × 3.79 $=$	18.8 m ²
	体積 18.8 m ² × 0.12 $=$	2.3 m ³
	重量 2.3 m ³ × 0.8 t/m ³ $=$	1.8 t
	松板厚t 加重平均	
	{ (0.4 × 0.03) + (1.8 × 0.04) + (18.8 × 0.12) } $=$	
	÷ (0.4 + 1.8 + 18.8)	0.11 m
12. 打 込 み 式 ア ン カ ー	M16	
	16 × 2 + 4 + 10 + 5 + 4 $=$	55 本
	下流側 上流側	
13. チ ッ ピ ン グ	増し厚コンクリート $1.475 \times 3.62 - 0.30 \times 1.28 =$	5.0 m ²

種 別	算 式	数 量
14. 増 し 厚 コ ン ク リ ー ト	$(1.47 \times 1.28 + 1.62 \times 2.34) \times 0.20 =$	1.1 m ³
15.増し厚コン型枠 一般型枠	$1.47 \times 1.28 + 1.62 \times 2.34 =$	5.7 m ²
16. 鉄 筋	SD345 D13 =	18 kg
	SD345 D16～D25 D16 =	58 kg
	計	76 kg
17. コンクリート 構 造 物 取 壊 し	鉄筋構造物 増し厚コン $0.245 \times 3.62 \times 0.20 =$	0.2 m ³
18. ガ ラ 処 分	鉄筋構造物 $0.2 \text{ m}^3 \times 2.50 \text{ t/m}^3 =$	1 t

8. 仮 水 路 工

種 別	算 式	数 量
仮 水 路 工		
1. 鋼 矢 板 打 込	鋼矢板Ⅲ型 L=6.5m 打込長 L=6.0m	
	枚数 = 22 枚	
	質量 6.500 × 22 × 60.0 kg/m = 8,580 kg	
	鋼矢板Ⅲ型 L=3.1m 打込長 L=2.5m	
	枚数 = 3 枚	
	質量 3.100 × 3 × 60.0 kg/m = 558 kg	
	鋼矢板Ⅲ型 L=3.1m 打込長 L=2.6m	
	枚数 = 4 枚	
	質量 3.100 × 4 × 60.0 kg/m = 744 kg	
	鋼矢板Ⅲ型 L=7.0m 打込長 L=6.3m	
	枚数 = 49 枚	
	質量 7.000 × 49 × 60.0 kg/m = 20,580 kg	
2. 鋼 矢 板 切 断	鋼矢板Ⅲ型 78 × 0.40 矢板全枚数	= 31.2 m
3.鋼矢板スクラップ	鋼矢板Ⅲ型	
	0.500 × (8 + 7 + 7) × 60.0 kg/m = 660	
	1.000 × 32 × 60.0 kg/m = 1,920	
	1.500 × 17 × 60.0 kg/m = 1,530	
	計	4,110 kg
	鋼矢板Ⅲ型	
4. 支 保	0.500 × (4 + 3) × 60.0 kg/m = 210 kg	
	設置・撤去 主部材	= 8,427 kg
	副部材(A) 8427 kg × 0.22 = 1,854 kg	
	副部材(B) 8427 kg × 0.04 = 337 kg	
5.圧入機据付回数		= 5 回
6.底張コンクリート	2.30 × 7.44 × 0.20 = 3.4	
	2.30 × 4.09 × 0.30 = 2.8	
	1.01 × 7.40 × 0.30 = 2.2	
	8.76 m ² × 0.20 = 1.8	
	計	10.2 m ³

種 別	算 式	数 量
7. 防護コンクリート	堤脚 $0.75 \text{ m}^2 \times 2.50 = 1.9$ 水路合流部 $0.60 \text{ m}^2 \times 2.30 = 1.4$ 堤脚水路流末部 $0.73 \text{ m}^2 \times 0.30 = 0.2$ 計 3.5 m^3	
8. 防護コン型枠 一般型枠	堤脚 $0.75 \text{ m}^2 \times 2 + (0.50 + 1.00) \times 2.50 = 5.3$ 水路合流部 $0.60 \text{ m}^2 \times 2 = 1.2$ $(0.40 + 1.84) \times 2.30 - 0.20 \times 0.25 = 5.1$ 堤脚水路流末部 $0.73 \text{ m}^2 \times 2 + 0.30 \times 0.59 = 1.6$ 計 13.2 m^2	
9. プレキャスト 門型カルバート	B2000×H1900 設置・撤去 2.71 t/m $= 5.0 \text{ m}$	
10. 現場打ち インバートコン	$0.68 \text{ m}^2 \times 5.00 = 3.4 \text{ m}^3$	
11. インバート型枠 一般型枠	$0.68 \text{ m}^2 \times 2 = 1.4$ $(0.09 + 0.10 + 0.14) \times 5.00 = 1.7$ $(1.45 + 0.69 + 0.89) \times 5.00 = 15.2$ 計 18.3 m^2	
12. 鉄 筋 SD345 D13	$2.92 \times 21 \times 0.995 \text{ kg/m} = 61$ $4.80 \times 12 \times 0.995 \text{ kg/m} = 57$ 計 118 kg	
13. 仮水路止水 コンクリート	$0.37 \text{ m}^2 \times 2.50 = 0.9 \text{ m}^3$	
14. 止水コン型枠 一般型枠	$(0.72 + 0.45) \times 2.50 \times 2 + 0.35 \times 2.50 = 6.7 \text{ m}^2$	
15. 根 止 め コンクリート	$0.72 \text{ m}^2 \times 0.30 = 0.2 \text{ m}^3$	

種 別	算 式	数 量
16.根止めコン型枠 一般型枠	$(1.09 + 0.63 + 0.68) \times 0.30$	$= 0.7 \text{ m}^2$
17. コンクリート 構造物取壊し	無筋構造物 防護コンクリート	$= 3.5 \text{ m}^3$
	鉄筋構造物	
	インバートコンクリート	$= 3.4$
	仮水路通水部	
	$1.77 \times 2.50 \times 0.35$	$= 1.5$
	$3.00 \times 2.40 \times 0.25$	$= 1.8$
	既設水路・翼壁切り欠き	
	$0.86 \text{ m}^2 \times 7.00 + 3.06 \text{ m}^2 \times 0.30$	$= 6.9$
	計	13.6 m^3
18. ガラ処分	無筋構造物 $3.5 \text{ m}^3 \times 2.35 \text{ t/m}^3$	$= 8 \text{ t}$
	鉄筋構造物 $13.6 \text{ m}^3 \times 2.50 \text{ t/m}^3$	$= 34 \text{ t}$

仮設土留め工・仮水路構造図(1/3)

全体平面図 S=1:50

材料表

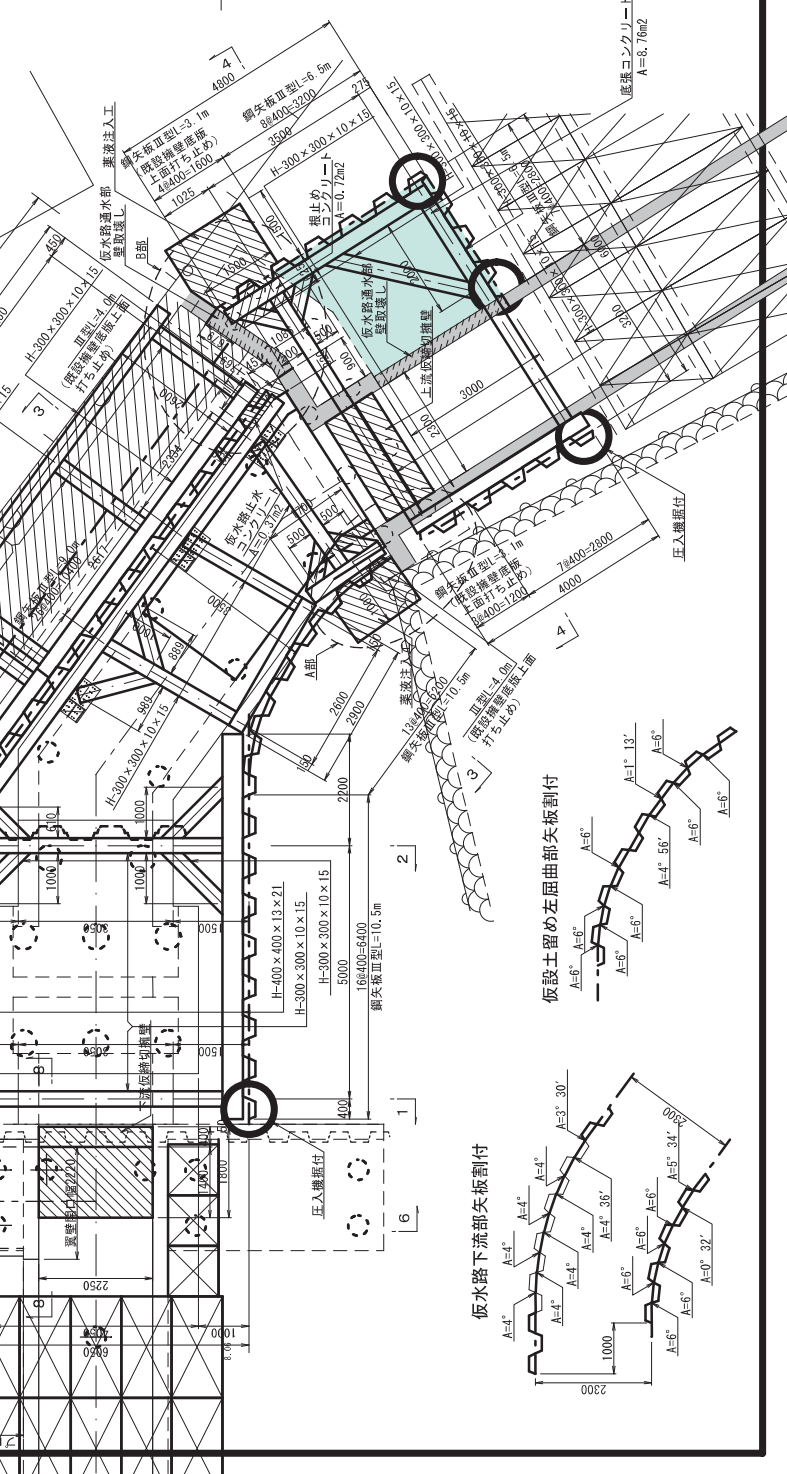
品名	単位	数量	単位	数量	品名	単位	数量	単位	数量		
長500	mm	43	64.3	620.3	27690	長500	mm	43	64.3	620.3	27690
短500	mm	78	60.0	540.0	14640	短500	mm	78	60.0	540.0	14640
短400	mm	26	60.0	240.0	480	短400	mm	26	60.0	240.0	480
短300	mm	22	60.0	390.0	8580	短300	mm	22	60.0	390.0	8580
短200	mm	3	60.0	180.0	558	短200	mm	3	60.0	180.0	558
短100	mm	4	60.0	180.0	744	短100	mm	4	60.0	180.0	744
短50	mm	7000	49	60.0	20680	短50	mm	7000	49	60.0	20680
短25	mm	1	200.0	110.0	1110	短25	mm	1	200.0	110.0	1110
短10	mm	1	200.0	1520	1520	短10	mm	1	200.0	1520	1520
短5	mm	1	200.0	110.0	1110	短5	mm	1	200.0	110.0	1110
短2	mm	1	200.0	1380	1380	短2	mm	1	200.0	1380	1380
短1	mm	1	100.0	290	290	短1	mm	1	100.0	290	290
短0.5	mm	1	100.0	170.0	170	短0.5	mm	1	100.0	170.0	170
短0.2	mm	1	100.0	1070	1070	短0.2	mm	1	100.0	1070	1070
短0.1	mm	2	100.0	450	900	短0.1	mm	2	100.0	450	900
短0.05	mm	2	100.0	150	300	短0.05	mm	2	100.0	150	300
短0.02	mm	1	100.0	150	300	短0.02	mm	1	100.0	150	300
短0.01	mm	1	100.0	24	24	短0.01	mm	1	100.0	24	24
短0.005	mm	1	100.0	41.4	41.4	短0.005	mm	1	100.0	41.4	41.4
短0.002	mm	3	100.0	0	124	短0.002	mm	3	100.0	0	124

[illegible]

低炭土層心(1段目)	5868 kg	鋼板板計	72072 kg
低炭土層の心(2段目)	2690 kg	支保材計	16995 kg
低炭土層の心(小計)	8558 kg	合 計	89057 kg
低炭土層上下板小計	8427 kg		

※切取部材はキリンジャンキ相当分の長さとして計上。
※火打ち材は火打ちコース相当分の長さ(0.5m×2)を控除した長さとして計上。
※長さ1.0m未満の火打材は火打ちコース(副部材)に置き換えるため未計上とした。

2段目支保平面図



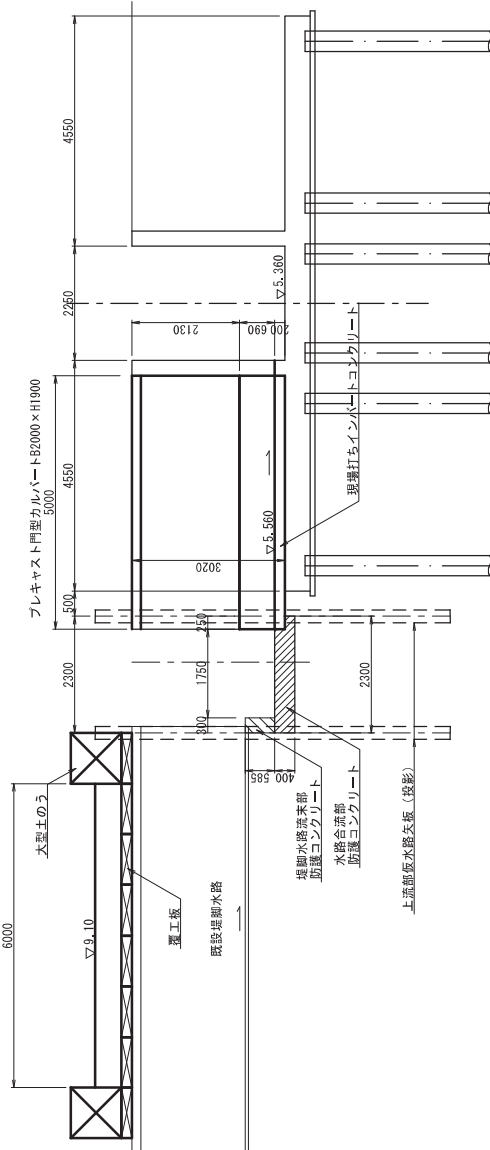
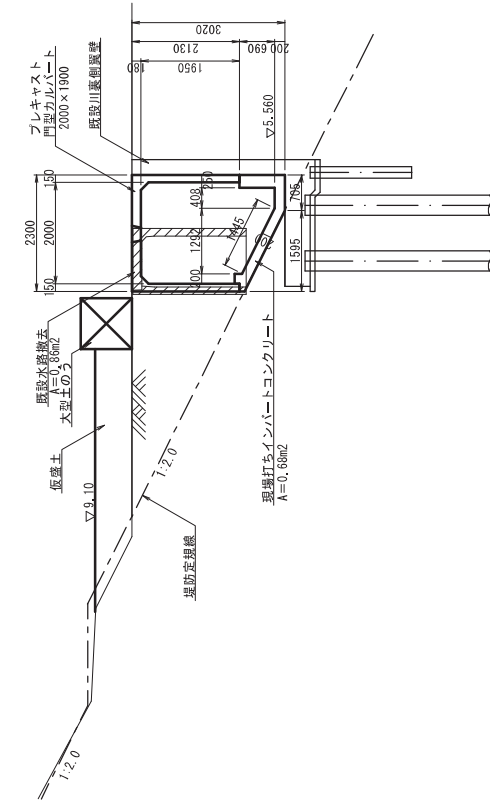
社名	新潟県上越市
所在地	上越市 橋本2丁目地 地内
工場番号	
好意	
施設名	飯沼土留め工・排水路構造図(1/3)
縮尺	1:50
用途	図面完全 95 葉の 66 年月 社会部 建設局
資料	株式会社 日技建設 建設局 昭和7年 主計課 主計係

仮設土留め工・仮水路構造図 (3 / 3)

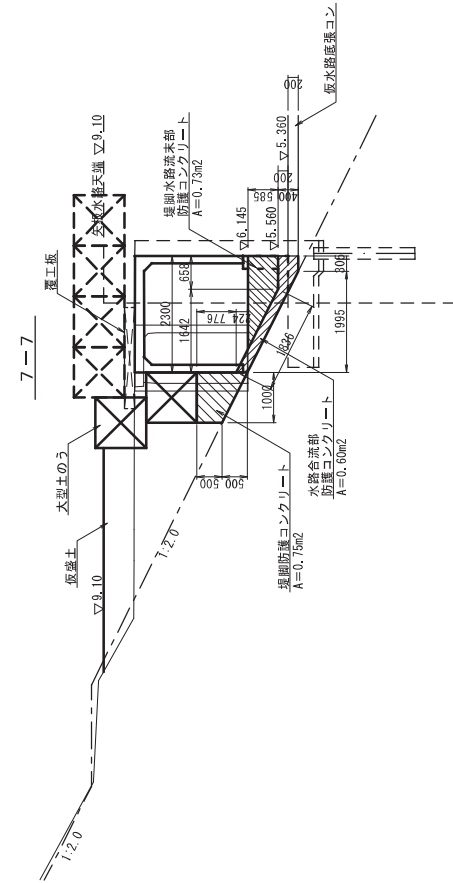
S=1:50

5-5

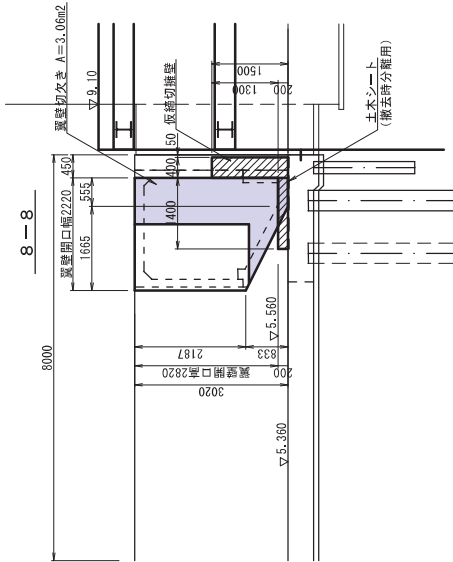
6-6



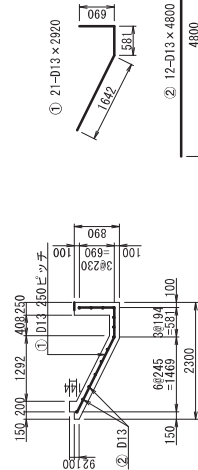
7-7



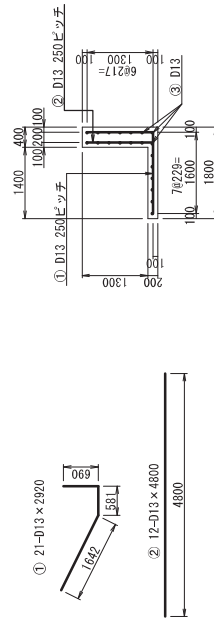
8-8



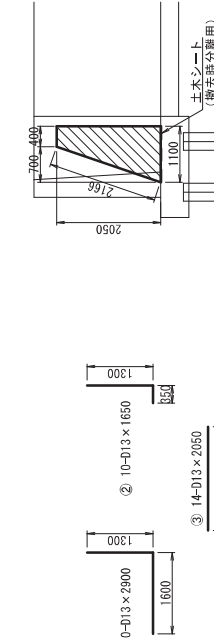
門型カルバートインバートコンクリート配筋図



下流仮締切擁壁配筋図



上流仮締切擁壁断面図



図名	工事番号	巻
上流側 橋梁27号橋 案内		
仮設土留め工・仮水路構造図 (3 / 3)		
縮尺	1:50	図面全 95 巻の 63
測者	年 月 日	主 任 技 師
設計	株式会社 日建技研	令和 7 年 1 月 主 任 技 師
新 潟 県 上 越 市		

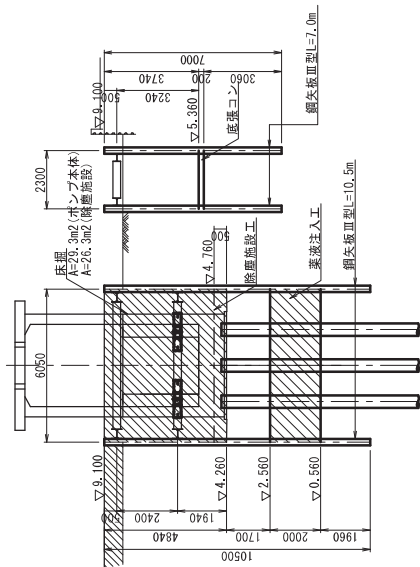
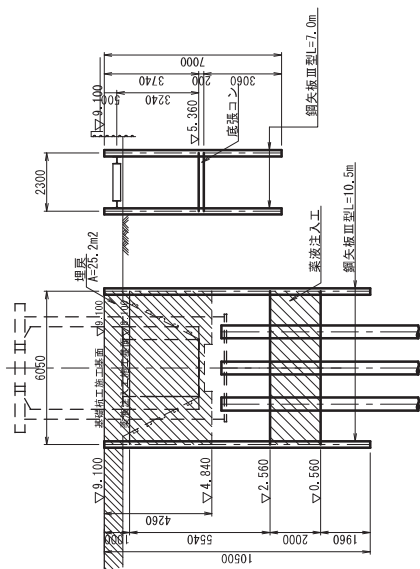
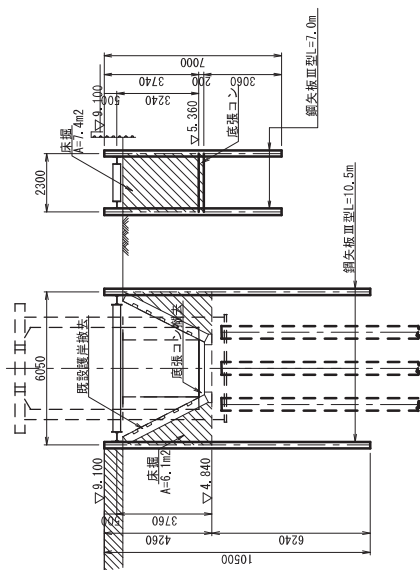
9. 仮水路土工

種 別	算 式	数 量
仮水路土工		
1. 床掘り	切梁式土留掘削部 土砂 A領域	
	下流部 $7.4 \text{ m}^2 \times 11.5$	= 85.1
	中流部 $0.9 \text{ m}^2 \times 7.5$	= 6.8
	上流部 $7.7 \text{ m}^2 \times 4.6$	= 35.4
	計	127.3 m^3
2. 埋戻し (改良土)	$1\text{m} \leq W1 < 4\text{m}$	
	下流部 $3.3 \text{ m}^2 \times 11.5$	= 38.0
	中流部 $2.1 \text{ m}^2 \times 7.5$	= 15.8
	上流部 $(4.8 \text{ m}^2 + 2.7 \text{ m}^2) \times 4.6$	= 34.5
	計	88.3 m^3
3. 埋戻し (基礎部・改良土)	$1\text{m} \leq W1 < 4\text{m}$	
	下流部 $0.6 \text{ m}^2 \times 11.5$	= 6.9
	中流部 $0.3 \text{ m}^2 \times 7.5$	= 2.3
	計	9.2 m^3
4. 基面整正	底張コンクリートより	
	$2.3 \times 7.4 + 2.3 \times 4.1$	= 26.5
	$1.0 \times 7.4 + 8.8 \text{ m}^2$	= 16.2
	計	42.7 m^2
6. 購入土 改良土	$88.3 \text{ m}^3 + 9.2 \text{ m}^3$	= 97.5 m^3

土工図 (1/2) S=1:100 [ポンプゲート本体工部、仮水路下流部]

基礎杭・薬液注入施工時

躯体築造時

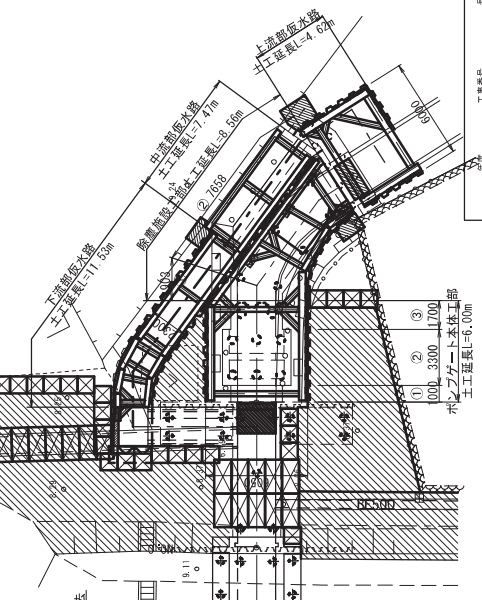
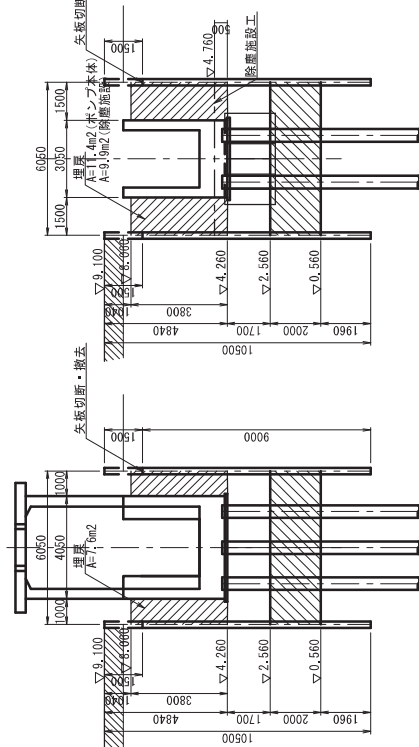
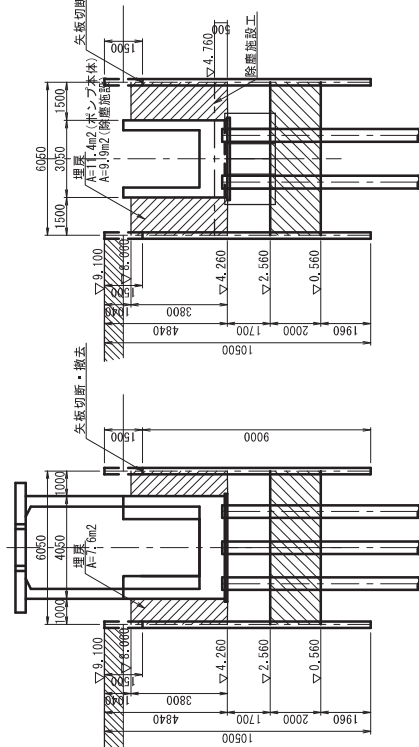
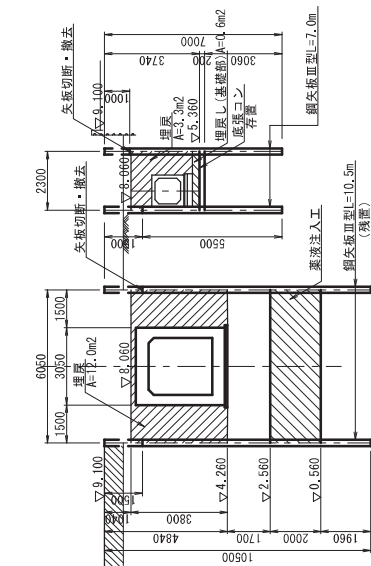


完了時①断面

完了時②断面

完了時③断面

マーク図



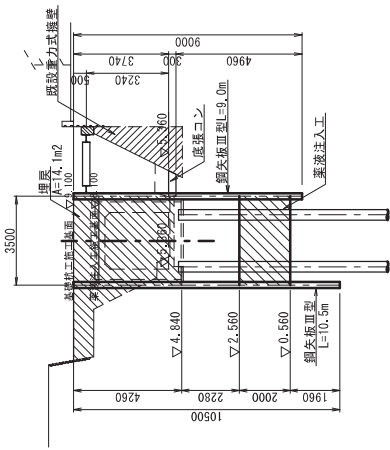
工事番号	号
上流側	機軸7日機 機内
土工図 (1/2)	
図尺 1:100	図面全 55 葉の 71
測 量	年 月 日 主 任 技 師 者
設 計	年 月 日 主 任 技 師 者
	新 潟 県 上 越 市

※. 完了時の埋戻土は、改良土（一軸圧縮強度75kN/㎡以上）を使用する。
（非液化化材料として）

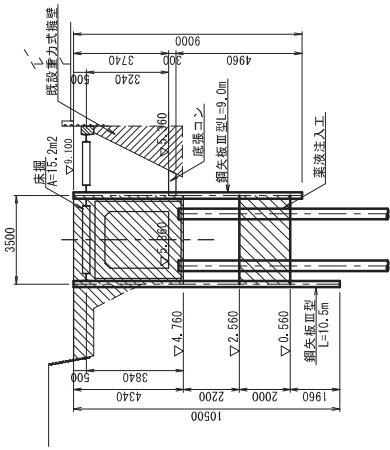
土工図 (2/2) S=1:100

〔除塵施設工部、仮水路中流部〕

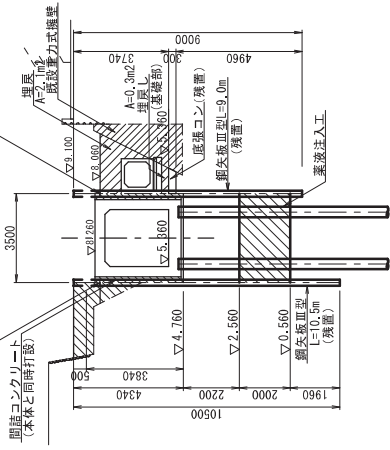
基礎杭・薬液注入施工時



躯体築造時

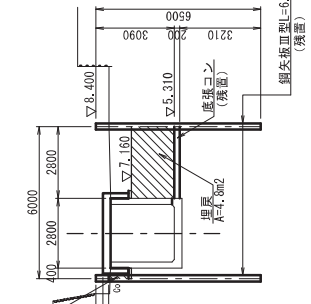


完了時

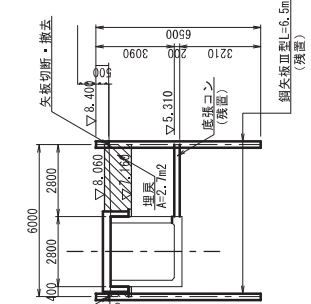


〔仮水路上流部〕

取付け水路頂版築造時



完了時



仮水路施工時

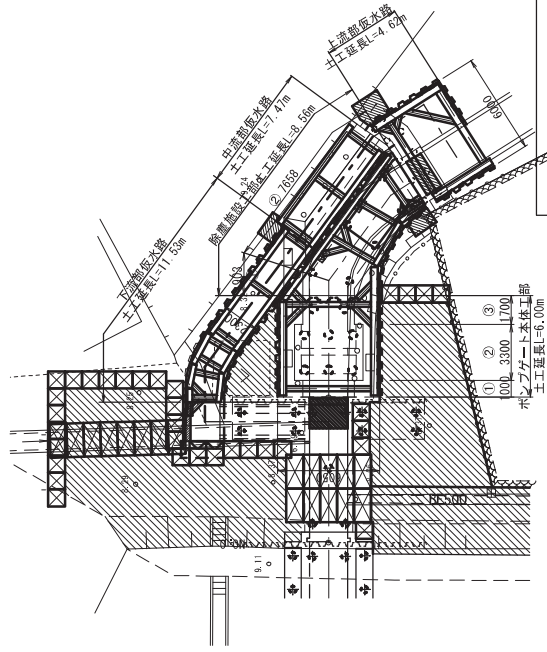
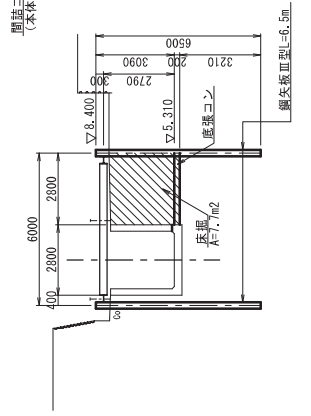


図	工事番号	上流部 機械7日機 機内
縮尺	1:100	図面全 55 葉の 72
測	年	主 1977年
設	月	主 1977年
計	日	主 1977年
新 潟 県 上 越 市		

※. 完了時の埋戻土は、改良土（一軸圧縮強度75kN/㎡以上）を使用する。
（非液状化材料として）

10. 仮 廻 水 路 工

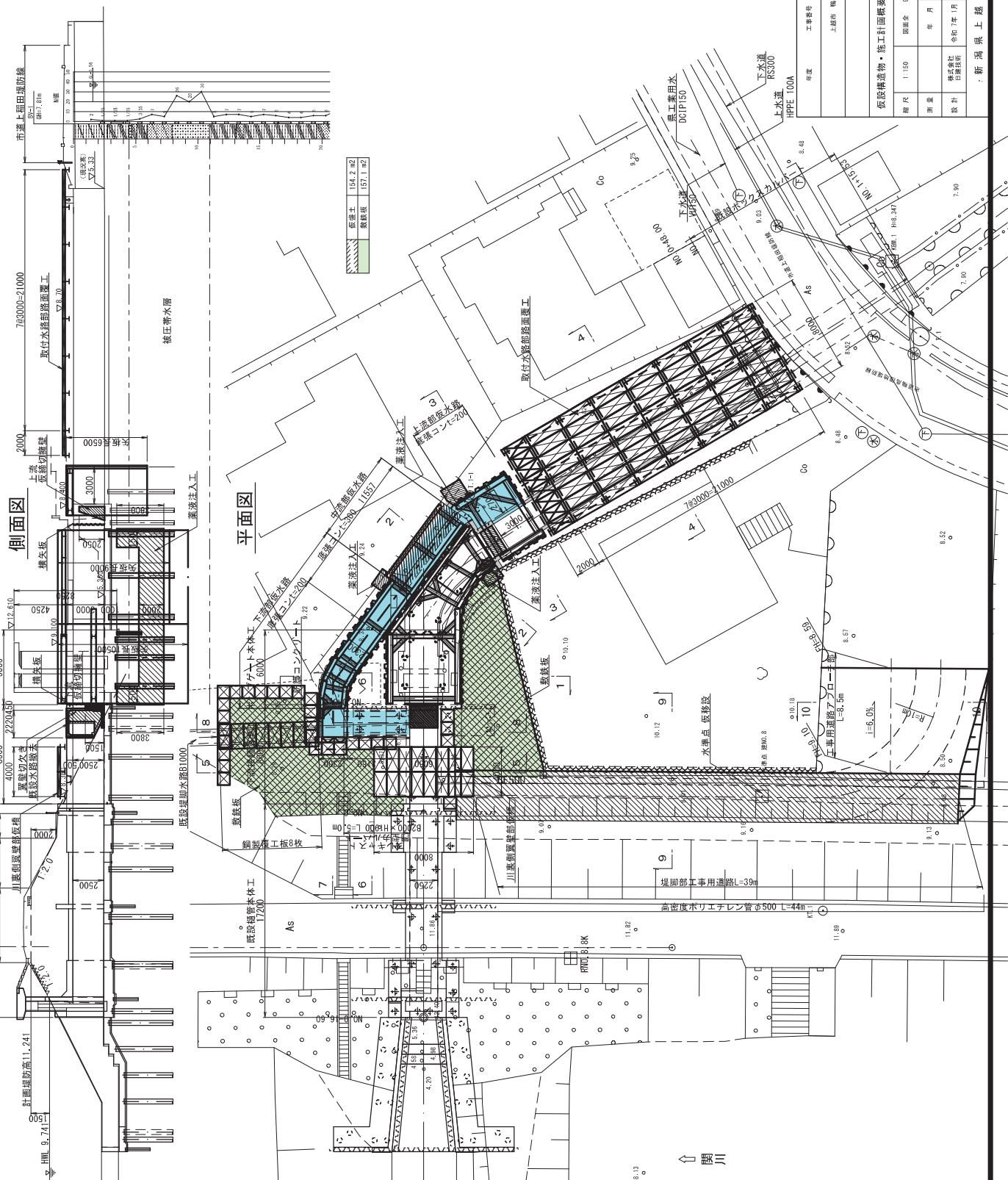
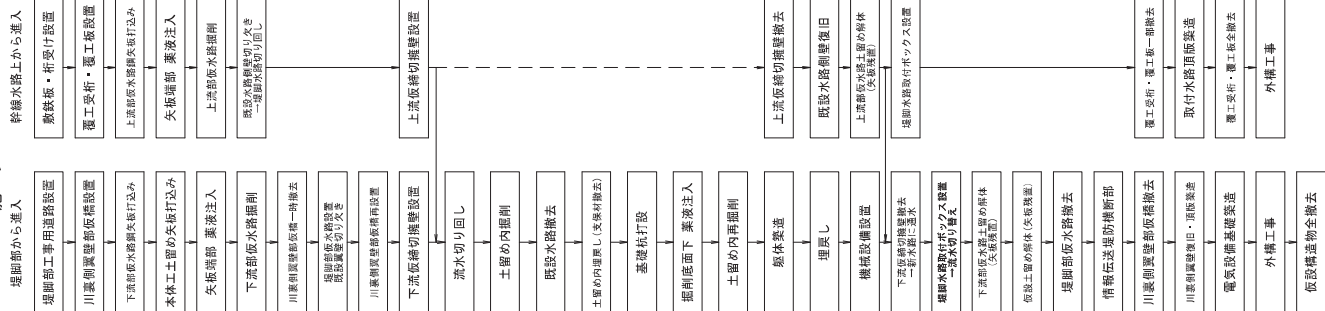
種 別	算 式	数 量
仮 廻 水 路 工 1. 高 密 度 ポ リ エ チ レ ン 管	φ 800 設 置・撤 去	
	堤脚水路取付～堤脚部仮水路撤去時 5.00 × 2 =	10.0
	下流接続函渠工、取付け水路工築造時 5.00 × 2 =	10.0
	計	20.0 m

11. 施工ヤード工（設置工）

種 別	算 式	数 量
施 工 ヤード 工 (設 置 工)		
1. 覆 工 板	MD-1000×2000×211 =	8 枚
2. 大 型 土 の う	=	31 袋
3. 仮 盛 土	154.2 m ² × 0.7 =	107.9 m ³
4. 敷 鉄 板 22×1524×6096	=	157.1 m ²

$S=1:150$

施工フロー



年鑑	工業調査会	
上掲市	昭和27日現在	市内
佐賀県遺物・建造計画調査図(1/2)		
縮尺	1:150	図面を95厘の55
測量		は 計測院
設計	梅田金太郎技師 日原祐司	年 月 日
		昭和7年1月
		新嘉坡
新嘉坡總督府		

12. 施エヤードエ（撤去エ）

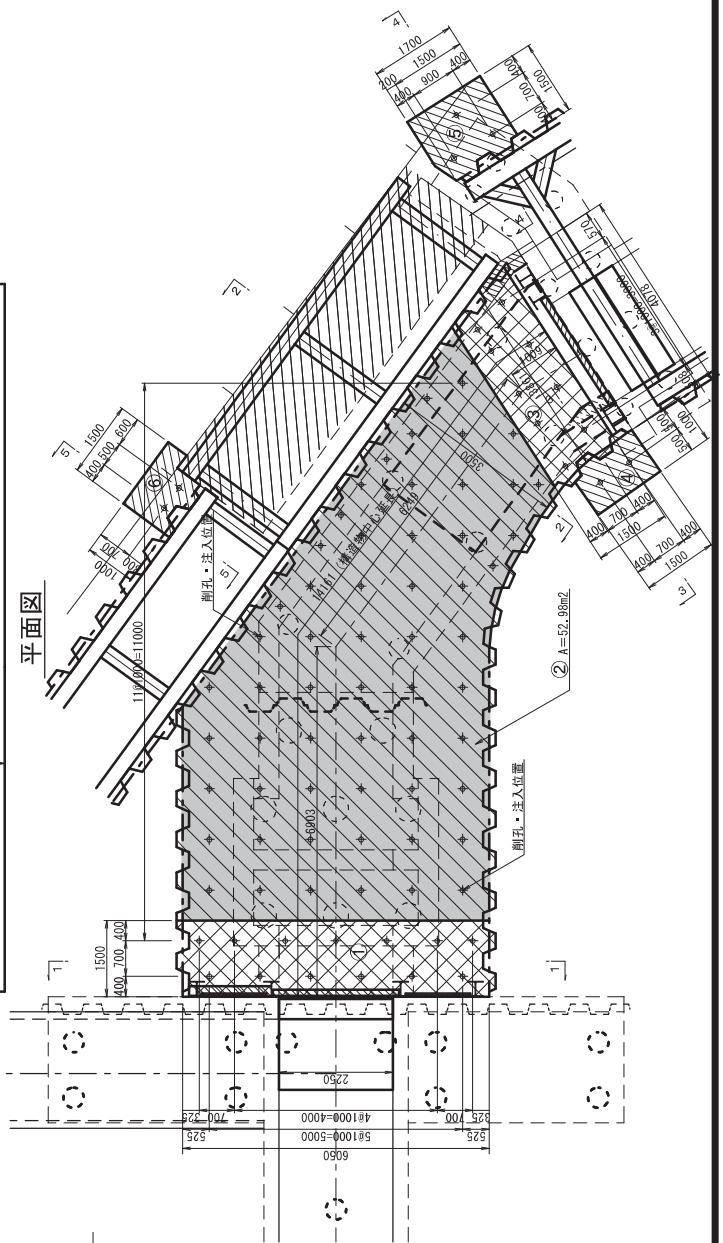
種 別	算 式	数 量
施 工 ヤード工 (撤 去 工)		
1. 覆 工 板 撤 去	MD-1000×2000×211 =	8 枚
2. 大型土のう撤去	=	31 袋
3. 掘 削	仮盛土より =	107.9 m ³
4. 敷 鉄 板 撤 去 22×1524×6096	=	157.1 m ²

13. 薬液注入工

薬液注入工集計表(複相式)

名 称	単位	①	②	③	④	⑤	⑥	合 計
薬液注入工 (二重管ストレーナー複相)								
注入面積	m ²	9.075	52.980	5.792	1.500	2.550	1.500	73.397
注入本数	本	13	58	9	2	3	2	87
注入長								
粘性土 0<N≤4	m	1.000		1.000	2.000	2.000	2.500	8.500
4<N≤8	m							
砂質土 0<N≤10	m	2.800	2.000	2.800				7.600
10<N≤30	m							
30<N	m							
礫質土 10<N≤30	m							
30<N≤50	m							
50<N	m							
計	m	3.800	2.000	3.800	2.000	2.000	2.500	16.100
対象土量								
粘性土 0<N≤4	m ³	9.075		5.792	3.000	5.100	3.750	26.717
4<N≤8	m ³							
砂質土 0<N≤10	m ³	25.410	105.960	16.218				147.588
10<N≤30	m ³							
30<N	m ³							
礫質土 10<N≤30	m ³							
30<N≤50	m ³							
50<N	m ³							
削孔長								
粘性土	m	1.480	1.480	1.480	2.500	2.500	3.500	12.940
砂質土	m	6.060	6.060	6.060				18.180
礫質土	m							
計	m	7.540	7.540	7.540	2.500	2.500	3.500	31.120
土被長	m	3.740	5.540	3.740	0.500	0.500	1.000	
総注入量	kl	12.832	42.914	8.190	0.840	1.428	1.050	67.254
1本当りの一次注入	kl	0.512	0.296	0.472	0.420	0.476	0.525	2.701
1本当りの二次注入	kl	0.475	0.444	0.438				1.357
1本当り注入量	kl	0.987	0.740	0.910	0.420	0.476	0.525	773.0 12/本
1日当り注入本数	本/日							
1本当りの施工時間	分/本							
施工日数	日							

側面図



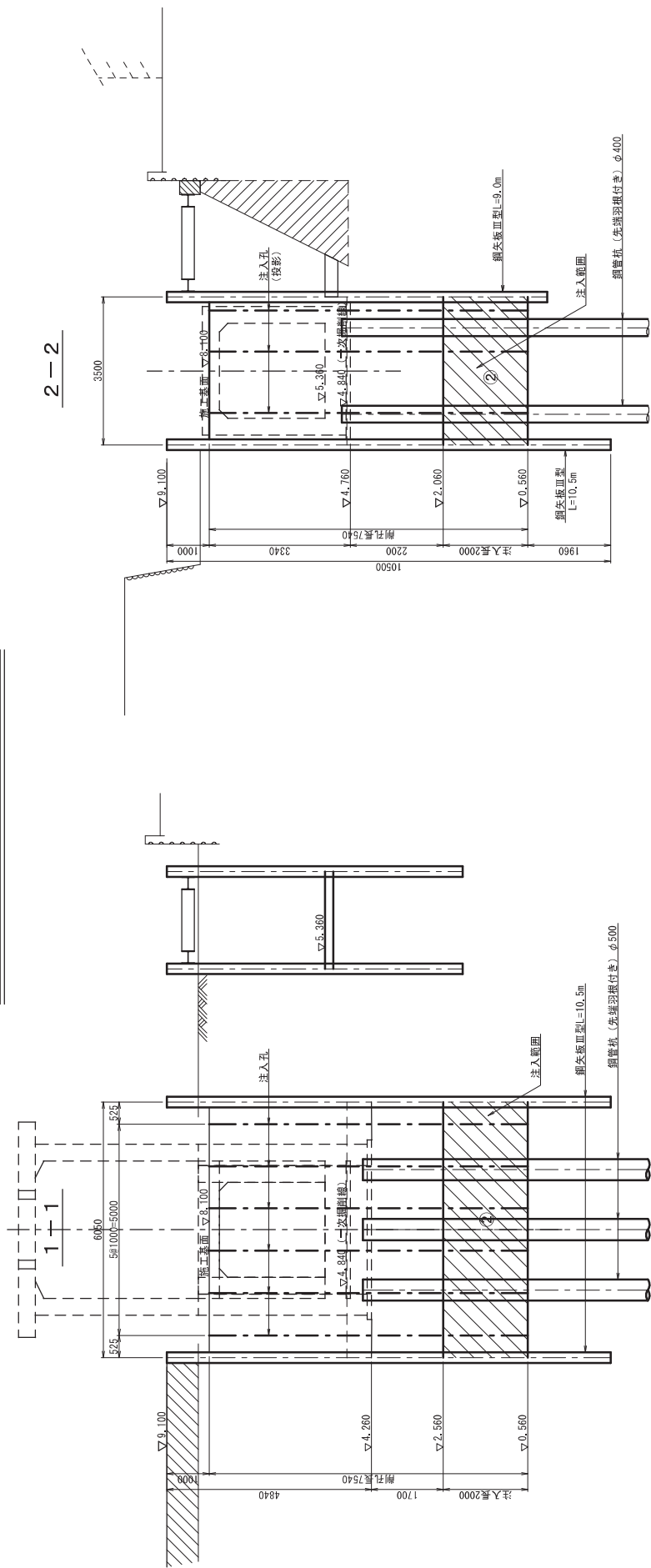
年次	工事番号	号
上越市 鶴巻2丁目地 地内		

某法注入工計画図 (1/2)			
階 尺	1 50	図面全	95 頁の 78
測 定		年 月	主 査 技 師
設 計		昭和 7 年 月	主 査 技 師
		増補合計 白抜修正	

新潟県上越市

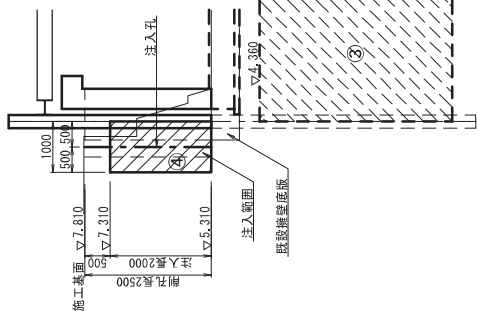
薬液注入工計画図 (2/2)

S=1:50

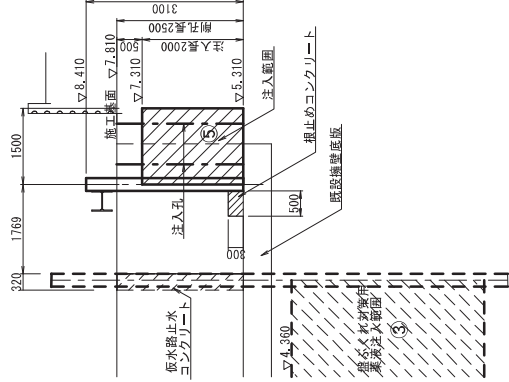


2-2

3-3



4-4



5-5

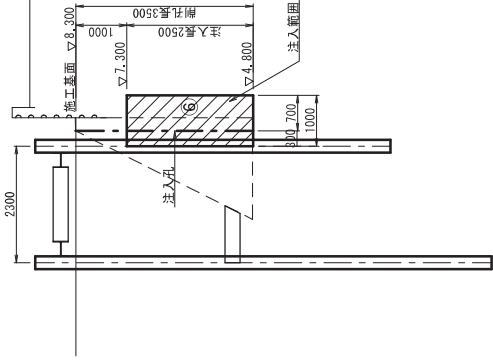


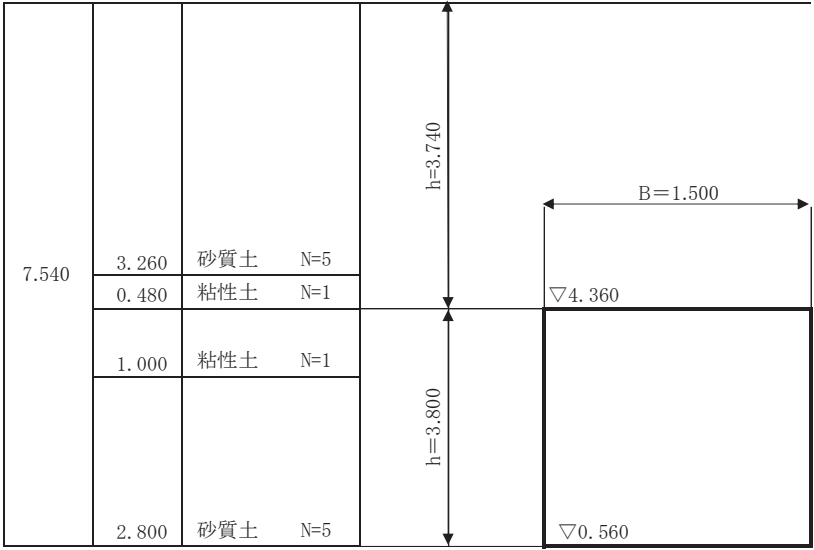
図	工事番号	号
上図面	機械77日機	機内
図面	1:50	図面全
設計	新島県	新島県
測	年	月
設計	令和7年1月	1月
設計	新島県	新島県
設計	新島県	新島県

薬液注入工の計算(二重管ストレーナ複相方式) ①

注入距離

$$A = B \times L = 1.500 \times 6.050 = 9.075 \text{ m}^2$$

▽8.100



削孔長		m	注入長		平均N値	m
土質	粘性土	1.480	粘性土①	0-4	1	1.000
				4-8		
	砂質土	6.060	砂質土①	0-10	5	2.800
				10-30		
				30-		
	礫質土		礫質土①	10-30		
				30-50		
				50-		

施工時間の算出

- 注入諸元
- (1) 機械準備時間 T1 (分/本)
T1 = (分/本)
- (2) 削孔時間 T2 (分/本)
T2 = $\Sigma (\gamma 1 \times L0)$ (分/本)
- (3) 注入時間 T3 (分/本)
T3 = $Qs / qs = 987 /$
= (分/本)
qs: 単位時間当り作業量 (l/m)
- (4) 土被り部引抜時間 T4 (分/本)
T4 = (削孔長 - 注入高) $\times \gamma 2$
= (7.540 - 3.800) \times
= (分/本)
 $\gamma 2$: 土被り部引抜の単位作業時間 (分/m)
- (5) 1本当り施工時間 Ts (分/本)
Ts = T1 + T2 + T3 + T4
= (分/本)
- (6) 2セット1日当り施工本数 N (本/日)
N = (60 \times H) / Ts \times 2
= (60 \times) / \times 2 = (本/日)
H: 注入設備の1日当り実作業時間 (時間)

削孔時間算定表

土質名	$\gamma 1$ (分/m)	削孔長 L0(m)	削孔時間 T2(分)
粘性土		1.480	
砂質土		6.060	
礫質土			
計		7.540	

薬液注入工の計算(二重管ストレーナ複相方式)

①

注入量の算出

$V=v \cdot \rho \cdot \alpha$

V: 注入量 (kl) 注入面積 9.075 m²
v: 対象土量 (m³) 1本当り注入面積 0.698 m²
 ρ : 間隙率 注入本数 13 本
 α : 薬液填充率

$Q_s=v1 \cdot \lambda \cdot 1000$

Qs: 1本当り注入量 (l)
v1: 1本当り対象土量 (m³)
v1=1本当り注入面積×注入高
 λ : 注入率 ($\lambda = \rho \cdot \alpha$)

土質名	平均 N値	対象土量 v1(m3) v (m3)	注入高 h (m)	間隙率 ρ (%)	填充率 α (%)	注入率 (%)	注入率		注入量			1本当り注入量			摘要
							1次 (%)	2次 (%)	1次注入 (kl)	2次注入 (kl)	注入量 (kl)	1次注入 (l)	2次注入 (l)	注入量 (l)	
粘性土①	1	0.698 9.075	1.000	70	40	28.0	28.0		2.541		2.541	195		195	
粘性土②															
砂質土①	5	1.954 25.410	2.800	45	90	40.5	16.2	24.3	4.116	6.175	10.291	317	475	792	
砂質土②															
砂質土③															
礫質土①															
礫質土②															
礫質土③															
合計		2.652 34.485	3.800						6.657	6.175	12.832	512	475	987	

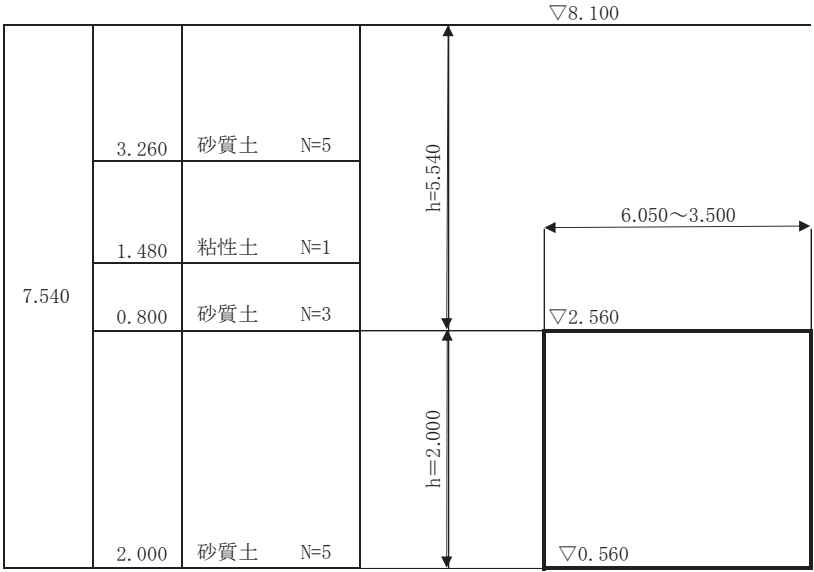
注入率表

土質	N値	間隙率 ρ (%)	填充率 α (%)	注入率 (%)	注入比率		注入率	
					1次 (%)	2次 (%)	1次 (%)	2次 (%)
粘性土①	0～4							
粘性土②	4～8							
砂質土①	0～10							
砂質土②	10～30							
砂質土③	30以上							
礫質土①	10～30							
礫質土②	30～50							
礫質土③	50以上							

※注入比率は標準値である。

薬液注入工の計算(二重管ストレーナ複相方式) ②

A = 薬液注入工数量添付図参照 = 52.980 m²
(CAD面積演算)



削孔長		m	注入長		平均N値	m
土質	粘性土	1.480	粘性土①	0-4		
				4-8		
	砂質土	6.060	砂質土①	0-10	5	2.000
				10-30		
				30-		
	礫質土		礫質土①	10-30		
				30-50		
				50-		

施工時間の算出

- 注入諸元
- (1) 機械準備時間 T1 (分/本)
T1 = (分/本)
- (2) 削孔時間 T2 (分/本)
T2 = Σ (γ1 × L0) (分/本)
- (3) 注入時間 T3 (分/本)
T3 = Qs / qs = 740 / (分/本)
qs: 単位時間当り作業量 (l/m)
- (4) 土被り部引抜時間 T4 (分/本)
T4 = (削孔長 - 注入高) × γ2
= (7.540 - 2.000) ×
= (分/本)
γ2: 土被り部引抜の単位作業時間 (分/m)
- (5) 1本当り施工時間 Ts (分/本)
Ts = T1 + T2 + T3 + T4
= (分/本)
- (6) 2セット1日当り施工本数 N (本/日)
N = (60 × H) / Ts × 2
= (60 ×) / × 2 = (本/日)
H: 注入設備の1日当り実作業時間 (時間)

削孔時間算定表

土質名	γ1 (分/m)	削孔長 L0(m)	削孔時間 T2(分)
粘性土		1.480	
砂質土		6.060	
礫質土			
計		7.540	

薬液注入工の計算(二重管ストレーナ複相方式)

②

注入量の算出

$V=v\cdot\rho\cdot\alpha$

V: 注入量 (kl) 注入面積 52.980 m²
v: 対象土量 (m³) 1本当り注入面積 0.913 m²
 ρ : 間隙率 注入本数 58 本
 α : 薬液填充率

$Q_s=v_1\cdot\lambda\cdot1000$

Qs: 1本当り注入量 (l)
v₁: 1本当り対象土量 (m³)
v₁=1本当り注入面積×注入高
 λ : 注入率 ($\lambda=\rho\cdot\alpha$)

土質名	平均 N値	対象土量	注入高 h (m)	間隙率 ρ (%)	填充率 α (%)	注入率 (%)	注入率		注入量			1本当り注入量			摘要
		v1(m3) v (m3)					1次 (%)	2次 (%)	1次注入 (kl)	2次注入 (kl)	注入量 (kl)	1次注入 (l)	2次注入 (l)	注入量 (l)	
粘性土①															
粘性土②															
砂質土①	5	1.826 105.960	2.000	45	90	40.5	16.2	24.3	17.166	25.748	42.914	296	444	740	
砂質土②															
砂質土③															
礫質土①															
礫質土②															
礫質土③															
合計		1.826 105.960	2.000						17.166	25.748	42.914	296	444	740	

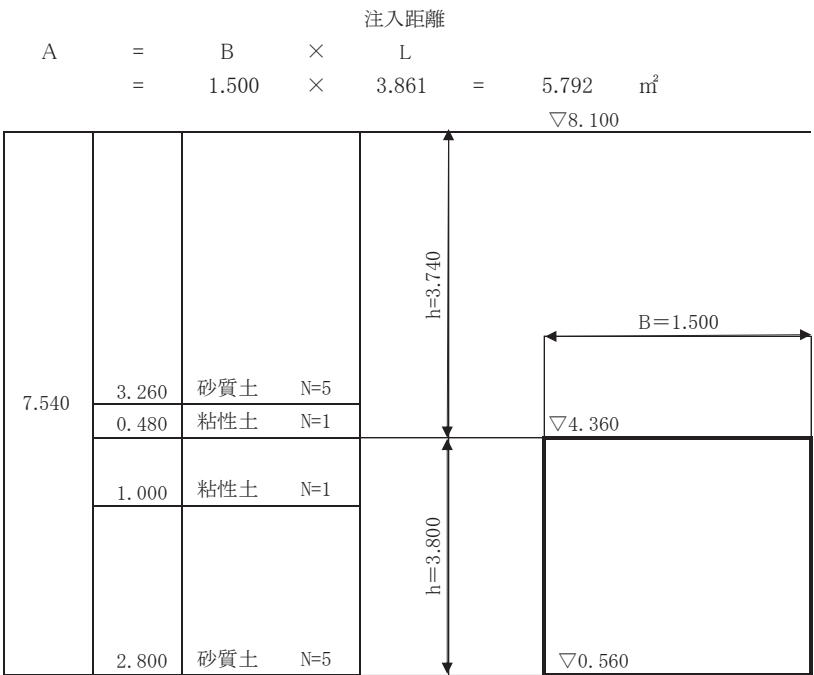
注入率表

土質	N値	間隙率 ρ (%)	填充率 α (%)	注入率 (%)	注入比率		注入率	
					1次 (%)	2次 (%)	1次 (%)	2次 (%)
粘性土①	0～4							
粘性土②	4～8							
砂質土①	0～10							
砂質土②	10～30							
砂質土③	30以上							
礫質土①	10～30							
礫質土②	30～50							
礫質土③	50以上							

※注入比率は標準値である。

薬液注入工の計算(二重管ストレーナ複相方式)

③



削孔長		m	注入長		平均N値	m
土質	粘性土	1.480	粘性土①	0-4	1	1.000
				4-8		
	砂質土	6.060	砂質土①	0-10	5	2.800
				10-30		
				30-		
	礫質土		礫質土①	10-30		
				30-50		
				50-		

施工時間の算出

- 注入諸元
- (1) 機械準備時間 T1 (分/本)
T1 = (分/本)
- (2) 削孔時間 T2 (分/本)
T2 = $\Sigma (\gamma 1 \times L0)$ (分/本)
- (3) 注入時間 T3 (分/本)
T3 = $Qs / qs = 910 /$
= (分/本)
qs: 単位時間当り作業量 (l/m)
- (4) 土被り部引抜時間 T4 (分/本)
T4 = (削孔長 - 注入高) $\times \gamma 2$
= (7.540 - 3.800) \times
= (分/本)
 $\gamma 2$: 土被り部引抜の単位作業時間 (分/m)
- (5) 1本当り施工時間 Ts (分/本)
Ts = T1 + T2 + T3 + T4
= (分/本)
- (6) 2セット1日当り施工本数 N (本/日)
N = (60 \times H) / Ts \times 2
= (60 \times) / \times 2 = (本/日)
H: 注入設備の1日当り実作業時間 (時間)

削孔時間算定表

土質名	$\gamma 1$ (分/m)	削孔長 L0(m)	削孔時間 T2(分)
粘性土		1.480	
砂質土		6.060	
礫質土			
計		7.540	

薬液注入工の計算(二重管ストレーナ複相方式)

③

注入量の算出

$V=v\cdot\rho\cdot\alpha$

V: 注入量 (kl) 注入面積 5.792 m2
v: 対象土量 (m3) 1本当り注入面積 0.644 m2
 ρ : 間隙率 注入本数 9 本
 α : 薬液填充率

$Q_s=v1\cdot\lambda\cdot1000$

Qs: 1本当り注入量 (l)
v1: 1本当り対象土量 (m3)
v1=1本当り注入面積×注入高
 λ : 注入率 ($\lambda=\rho\cdot\alpha$)

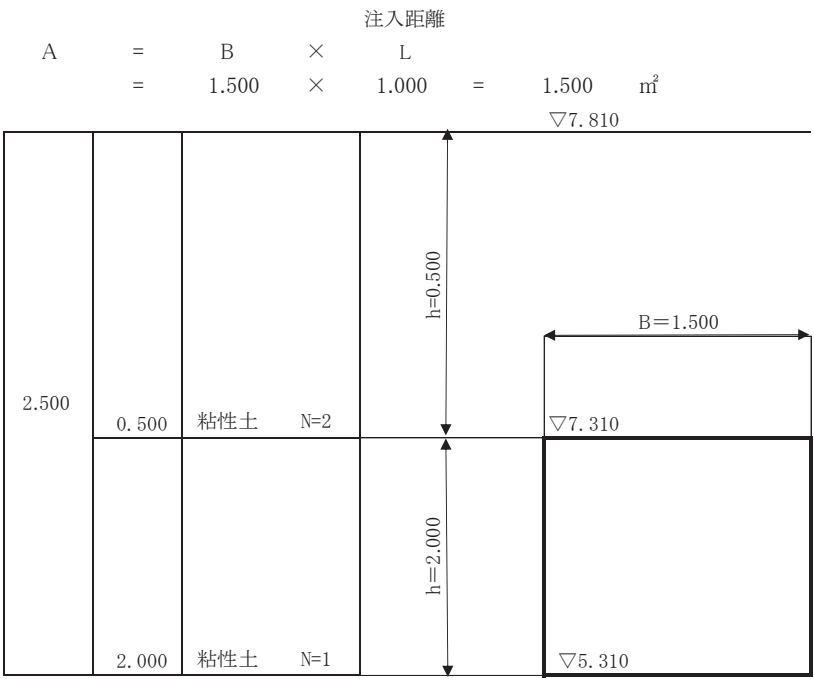
土質名	平均 N値	対象土量 v1(m3) v (m3)	注入高 h (m)	間隙率 ρ (%)	填充率 α (%)	注入率 (%)	注入率		注入量			1本当り注入量			摘要
							1次 (%)	2次 (%)	1次注入 (kl)	2次注入 (kl)	注入量 (kl)	1次注入 (l)	2次注入 (l)	注入量 (l)	
粘性土①	1	0.644 5.792	1.000	70	40	28.0	28.0		1.622		1.622	180		180	
粘性土②															
砂質土①	5	1.803 16.218	2.800	45	90	40.5	16.2	24.3	2.627	3.941	6.568	292	438	730	
砂質土②															
砂質土③															
礫質土①															
礫質土②															
礫質土③															
合計		2.447 22.010	3.800						4.249	3.941	8.190	472	438	910	

注入率表

土質	N値	間隙率 ρ (%)	填充率 α (%)	注入率 (%)	注入比率		注入率	
					1次 (%)	2次 (%)	1次 (%)	2次 (%)
粘性土①	0～4							
粘性土②	4～8							
砂質土①	0～10							
砂質土②	10～30							
砂質土③	30以上							
礫質土①	10～30							
礫質土②	30～50							
礫質土③	50以上							

※注入比率は標準値である。

薬液注入工の計算(二重管ストレーナ複相方式) ④



削孔長		m	注入長			平均N値	m
土質	粘性土	2.500	土質	粘性土①	0-4	1	2.000
				粘性土②	4-8		
	砂質土			砂質土①	0-10		
				砂質土②	10-30		
				砂質土③	30-		
	礫質土			礫質土①	10-30		
				礫質土②	30-50		
				礫質土③	50-		

施工時間の算出

- 注入諸元
- (1) 機械準備時間 T1 (分/本)
- T1= (分/本)
- (2) 削孔時間 T2 (分/本)
- T2=Σ(γ1×L0) (分/本)
- (3) 注入時間 T3 (分/本)
- T3=Qs /qs= 420 /
- = (分/本)
- qs: 単位時間当り作業量 (l/m)
- (4) 土被り部引抜時間 T4 (分/本)
- T4=(削孔長-注入高)×γ2
- = (2.500 - 2.000) ×
- = (分/本)
- γ2: 土被り部引抜の単位作業時間 (分/m)
- (5) 1本当り施工時間 Ts (分/本)
- Ts=T1+T2+T3+T4
- = (分/本)
- (6) 2セット1日当り施工本数 N (本/日)
- N=(60×H)/Ts×2
- = (60×) / × 2 = (本/日)
- H: 注入設備の1日当り実作業時間 (時間)

削孔時間算定表

土質名	γ1 (分/m)	削孔長 L0(m)	削孔時間 T2(分)
粘性土		2.500	
砂質土			
礫質土			
計		2.500	

薬液注入工の計算(二重管ストレーナ複相方式)

④

注入量の算出

$V=v \cdot \rho \cdot \alpha$

V: 注入量 (kl)
v: 対象土量 (m3)
 ρ : 間隙率
 α : 薬液填充率

注入面積 1.500 m2
1本当り注入面積 0.750 m2
注入本数 2 本

$Q_s=v1 \cdot \lambda \cdot 1000$

Q_s : 1本当り注入量 (l)
v1: 1本当り対象土量 (m3)
v1=1本当り注入面積×注入高
 λ : 注入率 ($\lambda = \rho \cdot \alpha$)

土質名	平均 N値	対象土量 v1(m3) v (m3)	注入高 h (m)	間隙率 ρ (%)	填充率 α (%)	注入率 (%)	注入率		注入量			1本当り注入量			摘要
							1次 (%)	2次 (%)	1次注入 (kl)	2次注入 (kl)	注入量 (kl)	1次注入 (l)	2次注入 (l)	注入量 (l)	
粘性土①	1	1.500 3.000	2.000	70	40	28.0	28.0		0.840		0.840	420		420	
粘性土②															
砂質土①															
砂質土②															
砂質土③															
礫質土①															
礫質土②															
礫質土③															
合計		1.500 3.000	2.000						0.840		0.840	420		420	

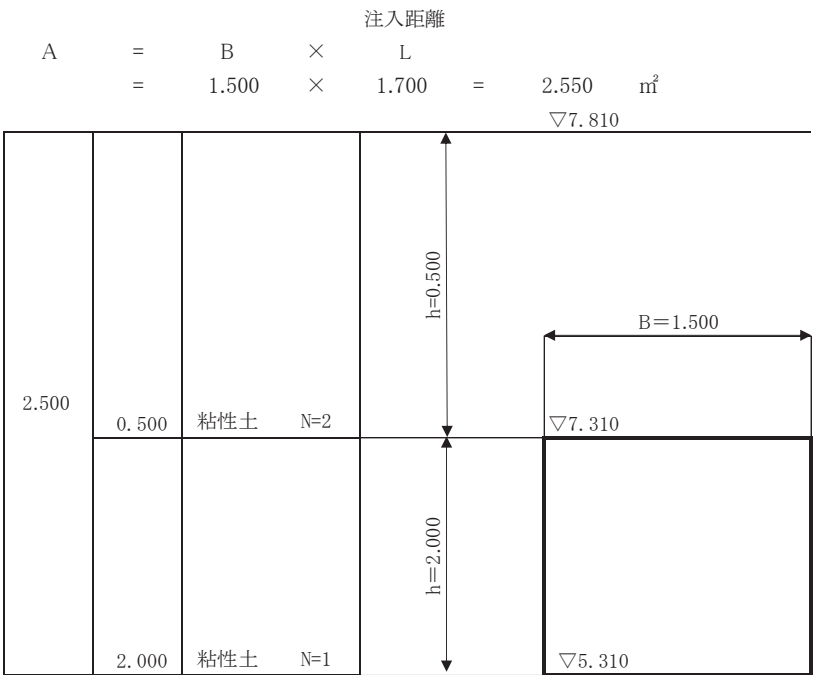
注入率表

土質	N値	間隙率 ρ (%)	填充率 α (%)	注入率 (%)	注入比率		注入率	
					1次 (%)	2次 (%)	1次 (%)	2次 (%)
粘性土①	0～4							
粘性土②	4～8							
砂質土①	0～10							
砂質土②	10～30							
砂質土③	30以上							
礫質土①	10～30							
礫質土②	30～50							
礫質土③	50以上							

※注入比率は標準値である。

薬液注入工の計算(二重管ストレーナ複相方式)

⑤



削孔長		m	注入長			平均N値	m	
土質	粘性土	2.500	土質	粘性土①	0-4	1	2.000	
				粘性土②	4-8			
	砂質土			砂質土①	0-10			
				砂質土②	10-30			
				砂質土③	30-			
	礫質土			礫質土①	10-30			
				礫質土②	30-50			
				礫質土③	50-			

施工時間の算出

- 注入諸元
- (1) 機械準備時間 T1 (分/本)
T1 = (分/本)
- (2) 削孔時間 T2 (分/本)
T2 = $\Sigma (\gamma_1 \times L_0)$ (分/本)
- (3) 注入時間 T3 (分/本)
T3 = Q_s / q_s $q_s = 476 /$
= (分/本)
q_s: 単位時間当り作業量 (l/m)
- (4) 土被り部引抜時間 T4 (分/本)
T4 = (削孔長 - 注入高) $\times \gamma_2$
= (2.500 - 2.000) \times
= (分/本)
 γ_2 : 土被り部引抜の単位作業時間 (分/m)
- (5) 1本当り施工時間 Ts (分/本)
Ts = T1 + T2 + T3 + T4
= (分/本)
- (6) 2セット1日当り施工本数 N (本/日)
N = (60 \times H) / Ts \times 2
= (60 \times) / \times 2 = (本/日)
H: 注入設備の1日当り実作業時間 (時間)

削孔時間算定表

土質名	γ_1 (分/m)	削孔長 L0(m)	削孔時間 T2(分)
粘性土		2.500	
砂質土			
礫質土			
計		2.500	

薬液注入工の計算(二重管ストレーナ複相方式)

⑤

注入量の算出

$V=v \cdot \rho \cdot \alpha$

V: 注入量 (kl) 注入面積 2.550 m2
v: 対象土量 (m3) 1本当り注入面積 0.850 m2
 ρ : 間隙率 注入本数 3 本
 α : 薬液填充率

$Q_s=v1 \cdot \lambda \cdot 1000$

Qs: 1本当り注入量 (l)
v1: 1本当り対象土量 (m3)
v1=1本当り注入面積×注入高
 λ : 注入率 ($\lambda = \rho \cdot \alpha$)

土質名	平均 N値	対象土量	注入高 h (m)	間隙率 ρ (%)	填充率 α (%)	注入率 (%)	注入率		注入量			1本当り注入量			摘要
		v1(m3)					1次	2次	1次注入	2次注入	注入量	1次注入	2次注入	注入量	
		v (m3)					(%)	(%)	(kl)	(kl)	(kl)	(l)	(l)	(l)	
粘性土①	1	1.700 5.100	2.000	70	40	28.0	28.0		1.428		1.428	476		476	
粘性土②															
砂質土①															
砂質土②															
砂質土③															
礫質土①															
礫質土②															
礫質土③															
合計		1.700 5.100	2.000						1.428		1.428	476		476	

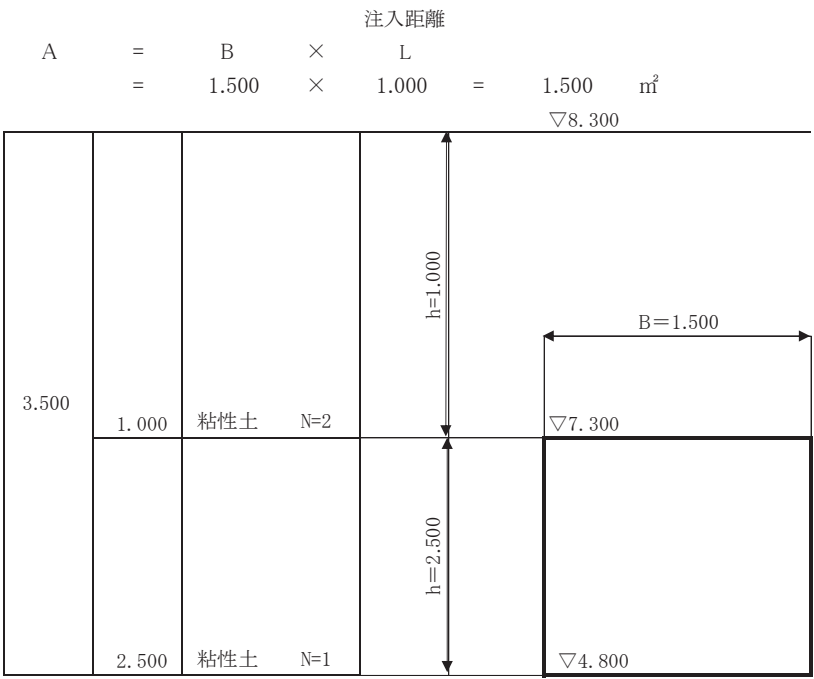
注入率表

土質	N値	間隙率 ρ (%)	填充率 α (%)	注入率 (%)	注入比率		注入率	
					1次 (%)	2次 (%)	1次 (%)	2次 (%)
粘性土①	0～4							
粘性土②	4～8							
砂質土①	0～10							
砂質土②	10～30							
砂質土③	30以上							
礫質土①	10～30							
礫質土②	30～50							
礫質土③	50以上							

※注入比率は標準値である。

薬液注入工の計算(二重管ストレーナ複相方式)

⑥



削孔長		m	注入長			平均N値	m
土質	粘性土	3.500	土質	粘性土①	0-4	1	2.500
				粘性土②	4-8		
	砂質土			砂質土①	0-10		
				砂質土②	10-30		
				砂質土③	30-		
	礫質土			礫質土①	10-30		
				礫質土②	30-50		
				礫質土③	50-		

施工時間の算出

- 注入諸元
- (1) 機械準備時間 T1 (分/本)
T1 = (分/本)
- (2) 削孔時間 T2 (分/本)
T2 = $\Sigma (\gamma 1 \times L0)$ (分/本)
- (3) 注入時間 T3 (分/本)
T3 = Qs / qs $qs = 525 /$
= (分/本)
qs: 単位時間当り作業量 (l/m)
- (4) 土被り部引抜時間 T4 (分/本)
T4 = (削孔長 - 注入高) $\times \gamma 2$
= (3.500 - 2.500) \times
= (分/本)
 $\gamma 2$: 土被り部引抜の単位作業時間 (分/m)
- (5) 1本当り施工時間 Ts (分/本)
Ts = T1 + T2 + T3 + T4
= (分/本)
- (6) 2セット1日当り施工本数 N (本/日)
N = $(60 \times H) / Ts \times 2$
= (60 \times) $/$ $\times 2 =$ (本/日)
H: 注入設備の1日当り実作業時間 (時間)

削孔時間算定表

土質名	$\gamma 1$ (分/m)	削孔長 L0(m)	削孔時間 T2(分)
粘性土		3.500	
砂質土			
礫質土			
計		3.500	

薬液注入工の計算(二重管ストレーナ複相方式)

⑥

注入量の算出

$$V=v \cdot \rho \cdot \alpha$$

V: 注入量 (kl)
v: 対象土量 (m3)
ρ: 間隙率
α: 薬液填充率

注入面積 1.500 m2
1本当り注入面積 0.750 m2
注入本数 2 本

$$Q_s=v1 \cdot \lambda \cdot 1000$$

Qs: 1本当り注入量 (l)
v1: 1本当り対象土量 (m3)
v1=1本当り注入面積×注入高
λ: 注入率 (λ=ρ・α)

土質名	平均 N値	対象土量	注入高	間隙率	填充率	注入率	注入率		注入量			1本当り注入量			摘要
		v1(m3) v (m3)	h (m)	ρ (%)	α (%)	(%)	1次 (%)	2次 (%)	1次注入 (kl)	2次注入 (kl)	注入量 (kl)	1次注入 (l)	2次注入 (l)	注入量 (l)	
粘性土①	1	1.875 3.750	2.500	70	40	28.0	28.0		1.050		1.050	525		525	
粘性土②															
砂質土①															
砂質土②															
砂質土③															
礫質土①															
礫質土②															
礫質土③															
合計		1.875 3.750	2.500						1.050		1.050	525		525	

注入率表

土質	N値	間隙率 ρ (%)	填充率 α (%)	注入率 (%)	注入比率		注入率	
					1次 (%)	2次 (%)	1次 (%)	2次 (%)
粘性土①	0～4							
粘性土②	4～8							
砂質土①	0～10							
砂質土②	10～30							
砂質土③	30以上							
礫質土①	10～30							
礫質土②	30～50							
礫質土③	50以上							

※注入比率は標準値である。

14 仮 設 材 運 搬

仮設材運搬

種別	細別	規格	面積 (m2)	枚数 (枚)	単位重量 (t/枚)	重量 (t)
工事用道路工						
	敷鉄板	22×1524×6096	195.1	21	1.604	33.7
川裏側翼壁部仮橋工						
	覆工板	MD-1000×2000×211		16	0.424	6.8
	主桁	H-400×400×13×21				4.4
	覆工板止め	[-200×80×7.5×11				0.6
	桁受	H-300×300×10×15				0.9
	敷鉄板	PL-22×1524×6096		2	1.604	3.2
取付水路部覆工						
	覆工板	MD-1000×2000×211		8	0.424	3.4
	覆工板	MD-1000×3000×211		56	0.624	34.9
	主桁	H-350×350×12×19				10.3
	覆工板止め	[-200×80×7.5×11				1.5
	桁受	H-350×350×12×19				9.7
	敷鉄板	PL-22×1524×6096		12	1.604	19.2
仮設土留工						
	支保(一時撤去有)	主部材				5.9
	支保(一時撤去有)	副部材(A)				1.3
	支保(一時撤去無)	主部材				2.7
	支保(一時撤去無)	副部材(A)				0.6
仮水路工						
	支保	主部材				8.4
	支保	副部材(A)				1.9
施工ヤード工						
	覆工板	MD-1000×2000×211		8	0.424	3.4
	敷鉄板	22×1524×6096	157.1	17	1.604	27.3
合計						180.1

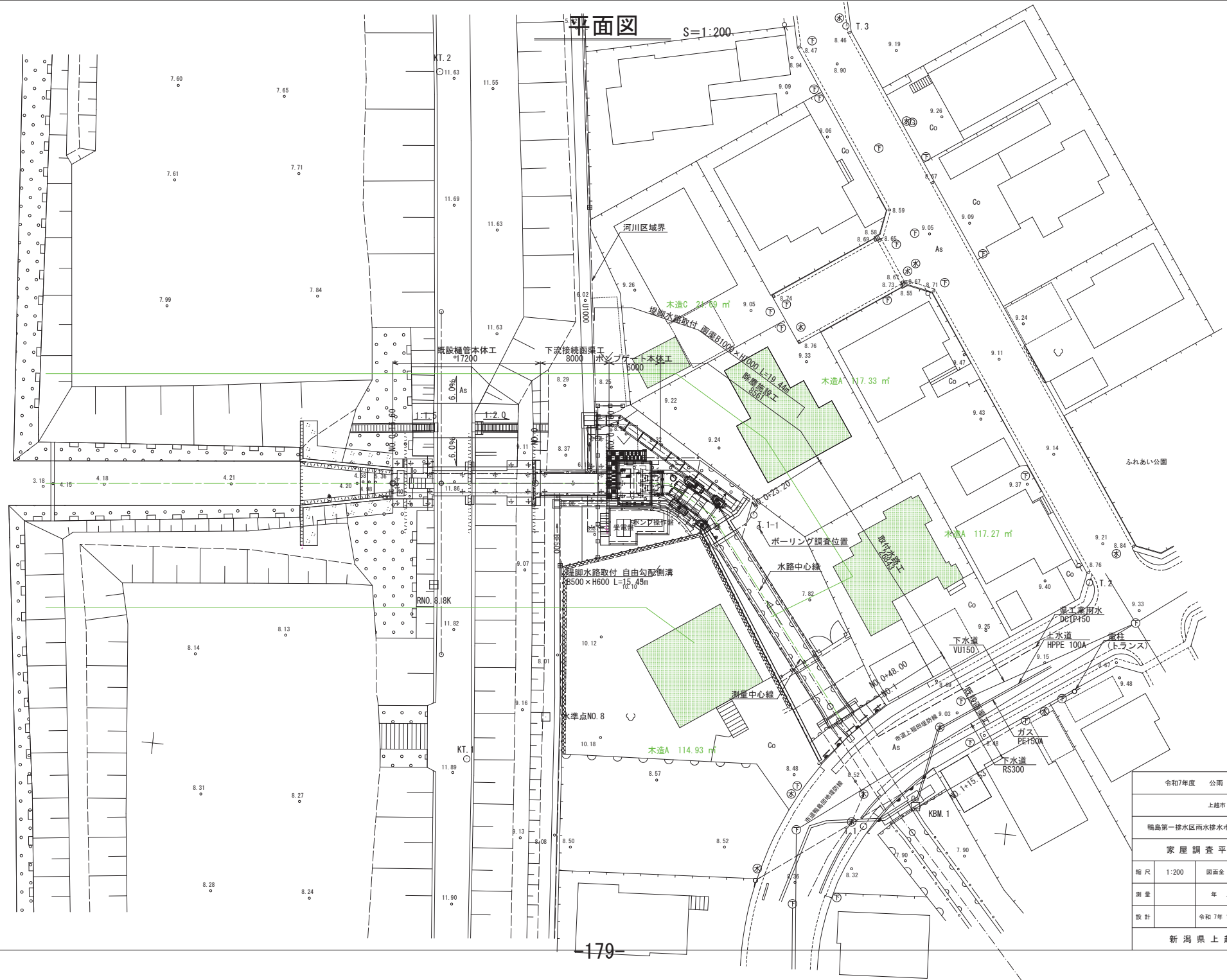
15 家 屋 調 査

平面図

S=1:200



一級河川
関川



令和7年度 公雨 第7-3号			
上越市 鴨島2丁目地 地内			
鴨島第一排水区雨水排水ポンプ土木工事			
家屋調査平面図			
縮尺	1:200	図面全	業の
測量		年月	主任 技術者
設計		令和7年1月	主任 技術者
新潟県上越市			

日数算定集計

○ 交通誘導警備員B

1名配置（作業日数）

$$\begin{array}{rclclcl} \cdot \text{別紙算定日数} & 37.0 \text{日} & \times & 1 \text{人} & = & 37.0 \text{人日} \\ & & & & \div & \boxed{37.0 \text{人日}} \end{array}$$

○ 水替え日数

作業時排水 0以上40(m³/h)未満

$$\begin{array}{rclclcl} \cdot \text{別紙算定日数} & & & & = & 114.1 \text{日} \\ & & & & \text{(四捨五入)} & \boxed{114 \text{日間}} \end{array}$$

○ 工事用道路工

借地

$$\begin{array}{rclclcl} \cdot \text{別紙算定日数} & & & & = & 286.4 \text{日} \\ & & & & \text{(切上げ)} & \boxed{10.0 \text{ヶ月間}} \end{array}$$

高密度ポリエチレン管φ500

$$\begin{array}{rclclcl} \cdot \text{別紙算定日数} & & & & = & 286.4 \text{日} \\ & & & & \text{(四捨五入)} & \boxed{9.5 \text{ヶ月間}} \end{array}$$

適用：1年未満(65%)

敷鉄板22×1524×6096

$$\begin{array}{rclclcl} \cdot \text{別紙算定日数} & & & & = & 284.5 \text{日} \\ & & & & \text{(四捨五入)} & \boxed{285 \text{日間}} \end{array}$$

適用：360日以内

○ 川裏側翼壁部仮橋工

覆工板 鋼製

・別紙算定日数

= 210.7 日
(四捨五入) 7.0 ヶ月間
適用：360日以内

主桁H-400×400×13×21

・別紙算定日数

= 210.7 日
(四捨五入) 211 日間
適用：360日以内

締結金具D77M2H1型

・別紙算定日数

= 210.7 日
(四捨五入) 211 日間
適用：360日以内

桁受H-300×300×10×15

・別紙算定日数

= 210.7 日
(四捨五入) 211 日間
適用：360日以内

敷鉄板22×1524×6096

・別紙算定日数

= 210.7 日
(四捨五入) 211 日間
適用：360日以内

○ 取付水路部覆工

覆工板 鋼製

・別紙算定日数

= 216.6 日
(四捨五入) 7.2 ヶ月間
適用：360日以内

主桁H-350×350×12×19

・別紙算定日数

= 216.6 日
(四捨五入) 217 日間
適用：360日以内

締結金具ワッシャーH1型

・別紙算定日数

= 216.6 日
(四捨五入) 217 日間
適用：360日以内

桁受H-350×350×12×19

・別紙算定日数

= 217.2 日
(四捨五入) 217 日間
適用：360日以内

敷鉄板22×1524×6096

・別紙算定日数

= 217.2 日
(四捨五入) 217 日間
適用：360日以内

○ 仮設土留工

山留材(一時撤去有) H形鋼(山留主部材) 250~400型、鋼製山留材[部品(賃料)]

・別紙算定日数 = 144.9 日
(四捨五入) 145 日間
適用：180日以内

山留材(一時撤去無) H形鋼(山留主部材) 250~400型、鋼製山留材[部品(賃料)]

・別紙算定日数 = 52.0 日
(四捨五入) 52 日間
適用：90日以内

○ 仮水路工

山留材 H形鋼(山留主部材) 250~400型

・別紙算定日数 = 175.3 日
(四捨五入) 175 日間
減額補正適用 161 日間
適用：180日以内

鋼製山留材[部品(賃料)]

・別紙算定日数 = 175.3 日
(四捨五入) 175 日間
減額補正適用 162 日間
適用：180日以内

○ 仮廻水路工

高密度ポリエチレン管φ800

・別紙算定日数 = 95.1 日
(四捨五入) 3.2 ヶ月間
適用：6ヶ月未満(55%)

○ 施工ヤード工

覆工板 鋼製

・別紙算定日数 = 205.7 日
(四捨五入) 6.9 ヶ月間
適用：360日以内

敷鉄板22×1524×6096

・別紙算定日数 = 205.0 日
(四捨五入) 205 日間
適用：360日以内

作業不可能率

全体作業日数= 日

全体供用日数= 日

名称	規格	施工量	単位	日当り 標準作業量	単位/日	日数	算出根拠	交通誘導員	水替え	工事用道路工 番地・高圧管	工事用道路工 敷設板	川基側翼壁部仮構工 掘工受桁・掘工板	川基側翼壁部仮構工 敷設板・桁受け	取付水路部掘工 敷設板・桁受け	取付水路部掘工 敷設板・桁受け	仮設土留工 山留材(一時撤去有)	仮設土留工 山留材(一時撤去無)	仮水路工 山留材	仮水路工 高圧管	施工ヤード工 掘工板	施工ヤード工 敷設板
【仮設工】																					
[工事用道路工]																					
U型側溝	U型側溝 L=2000mm 1000kg/個以下	44	m		m/日	○				○											
床掘り	床掘り 土砂 上記以外(小規模)	10	m3		m3/日	○				○											
埋戻し	埋戻し 上記以外(小規模) 土砂	9	m3		m3/日	○				○											
暗渠排水管	暗渠排水管 波・網状管 管径:450*600mm	44	m		m/日	○				○											
暗渠排水管	暗渠排水管 波・網状管 管径:450*600mm 撤去	44	m		m/日	○				○											
掘削	掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害:無し 5,000m3未満	20	m3		m3/日	○				○											
法面工	法面工 張芝工 野芝・高麗芝(全面張)	200	m2		m2/日	○				○											
路体(築堤)盛土	路体(築堤)盛土 4.0m以上 20,000m3未満 障害:無し	130	m3		m3/日	○				○											
掘削	掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害:無し 5,000m3未満	130	m3		m3/日	○				○											
敷鉄板設置・撤去	敷鉄板設置・撤去 設置	195	m2		m2/日	○				○	○										
敷鉄板設置・撤去	敷鉄板設置・撤去 撤去	195	m2		m2/日	○				○	○										
整地	整地 敷均し(ルーズ) 標準 障害:無し	10	m3		m3/日	○				○											
[仮橋・仮栈橋工]																					
仮設材設置撤去工	仮設材設置撤去工 覆工板・覆工板受桁 設置 設置面積700m2以下	32	m2		m2/日	○		○		○	○	○	○								
仮設材設置撤去工	仮設材設置撤去工 覆工板・覆工板受桁 撤去 設置面積700m2以下	32	m2		m2/日	○		○		○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
敷鉄板設置・撤去	敷鉄板設置・撤去 設置	19	m2		m2/日	○				○	○		○								
敷鉄板設置・撤去	敷鉄板設置・撤去 撤去	19	m2		m2/日	○				○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
仮設材設置撤去工	仮設材設置撤去工 覆工板・覆工板受桁 設置 設置面積700m2以下	32	m2		m2/日	○		○		○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
仮設材設置撤去工	仮設材設置撤去工 覆工板・覆工板受桁 撤去 設置面積700m2以下	32	m2		m2/日	○		○		○	○	○	○			○		○	○	○	○
敷鉄板設置・撤去	敷鉄板設置・撤去 設置	19	m2		m2/日	○				○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
敷鉄板設置・撤去	敷鉄板設置・撤去 撤去	19	m2		m2/日	○				○	○		○			○		○	○	○	○
[作業ヤード整備工]																					
仮設材設置撤去工	仮設材設置撤去工 覆工板・覆工板受桁 設置 設置面積700m2以下	16	m2		m2/日	○		○		○	○	○	○							○	
仮設材設置撤去工	仮設材設置撤去工 覆工板・覆工板受桁 撤去 設置面積700m2以下	16	m2		m2/日	○		○		○	○	○	○							○	
大型土のうエ	大型土のうエ 製作・設置	31	袋		袋/日	○				○	○	○	○								
大型土のうエ	大型土のうエ 撤去	31	袋		袋/日	○				○	○	○	○								
路体(築堤)盛土	路体(築堤)盛土 4.0m以上 20,000m3未満 障害:無し	110	m3		m3/日	○				○	○	○	○								
掘削	掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害:無し 5,000m3未満	110	m3		m3/日	○				○	○	○	○								
敷鉄板設置・撤去	敷鉄板設置・撤去 設置	157	m2		m2/日	○				○	○	○	○								○
敷鉄板設置・撤去	敷鉄板設置・撤去 撤去	157	m2		m2/日	○				○	○	○	○								○
[取付水路部覆工]																					
仮設材設置撤去工	仮設材設置撤去工 覆工板・覆工板受桁 設置 設置面積700m2以下	184	m2		m2/日	○		○						○	○						
仮設材設置撤去工	仮設材設置撤去工 覆工板・覆工板受桁 撤去 設置面積700m2以下	184	m2		m2/日	○		○						○	○				○		
敷鉄板設置・撤去	敷鉄板設置・撤去 設置	111	m2		m2/日	○									○						
敷鉄板設置・撤去	敷鉄板設置・撤去 撤去	111	m2		m2/日	○									○				○		

作業不可能率

全体作業日数=

日

全体供用日数=

日

名称	規格	施工量	単位	日当り 標準作業量	単位/日	日数	算出根拠	交通誘導警備員	水替え	工事用道路工 機材・高圧パイプ	工事用道路工 鉄筋板	川底掘削機材鉄筋工 機材受付・掘削板	川底掘削機材鉄筋工 鉄筋板・掘削板	取付水漏れ掘削工 機材受付・掘削板	取付水漏れ掘削工 鉄筋板・掘削板	仮設土留工 山留材(一時撤去者)	仮設土留工 山留材(一時撤去者)	仮設土留工 山留材	仮設水漏工 高圧パイプ	施工ヤード工 掘削板	施工ヤード工 鉄筋板
[仮水路工]																					
圧入(Nmax≦25)	圧入(Nmax≦25)Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型 6m以下	29	枚		枚/日	○		○		○	○	○	○	○	○					○	○
圧入(Nmax≦25)	圧入(Nmax≦25)Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型 9m以下	49	枚		枚/日	○		○		○	○	○	○	○	○					○	○
ガス切断工	ガス切断工 鋼矢板	78	箇所		箇所/日	○				○	○	○	○	○	○				○	○	○
油圧式杭圧入引抜機据付・解体	油圧式杭圧入引抜機据付・解体 圧入(Nmax≦25)	5	回		回/日	○				○	○	○	○	○	○					○	○
仮設材設置撤去工	仮設材設置撤去工 切梁・腹起し 設置 火打ブロック:無し	10.6	t		t/日	○				○	○	○	○	○	○			○		○	○
仮設材設置撤去工	仮設材設置撤去工 切梁・腹起し 撤去 火打ブロック:無し	10.6	t		t/日	○				○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
コンクリート	コンクリート 無筋・鉄筋構造物 コンクリートポンプ車打設 10m3以上100m3未満	15	m3		m3/日	○				○	○	○	○	○	○			○		○	○
型枠	型枠 鉄筋・無筋構造物	21	m2		m2/日	○				○	○	○	○	○	○			○		○	○
ボックスカルバート	ボックスカルバート ボックスカルバート単体 PC鋼材を使用しない 製品長:1.0m 枠番号④	5	m		m/日	○				○	○	○	○	○	○			○		○	○
コンクリート	コンクリート 無筋・鉄筋構造物 コンクリートポンプ車打設 10m3以上100m3未満	3	m3		m3/日	○				○	○	○	○	○	○			○		○	○
型枠	型枠 鉄筋・無筋構造物	18	m2		m2/日	○				○	○	○	○	○	○			○		○	○
鉄筋工	鉄筋工 一般構造物	0.12	t		t/日	○				○	○	○	○	○	○			○		○	○
構造物とりこわし	構造物とりこわし 無筋構造物 機械施工	4	m3		m3/日	○				○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
構造物とりこわし	構造物とりこわし 鉄筋構造物 機械施工	19	m3		m3/日	○				○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
床掘り	床掘り 土砂 標準 土留方式:切梁腹起式 障害:有り	130	m3		m3/日	○				○	○	○	○	○	○			○		○	○
埋戻し	埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	100	m3		m3/日	○				○	○	○	○	○	○			○		○	○
暗渠排水管	暗渠排水管 波・網状管 管径:450*600mm	20	m		m/日	○				○	○	○	○	○	○				○	○	○
暗渠排水管	暗渠排水管 波・網状管 管径:450*600mm 撤去	20	m		m/日	○				○	○	○	○	○	○				○	○	○
[土留・仮締切工]																					
コンクリート	コンクリート 無筋・鉄筋構造物 コンクリートポンプ車打設 10m3以上100m3未満	2	m3		m3/日	○			○	○	○	○	○	○	○					○	○
コンクリート	コンクリート 無筋・鉄筋構造物 コンクリートポンプ車打設 10m3以上100m3未満	4	m3		m3/日	○			○	○	○	○	○	○	○					○	○
型枠	型枠 鉄筋・無筋構造物	17	m2		m2/日	○			○	○	○	○	○	○	○					○	○
鉄筋工	鉄筋工 一般構造物	0.07	t		t/日	○			○	○	○	○	○	○	○					○	○
構造物とりこわし	構造物とりこわし 鉄筋構造物 機械施工	2	m3		m3/日	○				○	○	○	○	○	○				○	○	○
構造物とりこわし	構造物とりこわし 無筋構造物 機械施工	4	m3		m3/日	○				○	○	○	○	○	○				○	○	○
圧入(Nmax≦25)	圧入(Nmax≦25)Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型 12m以下	43	枚		枚/日	○		○		○	○	○	○	○	○					○	○
圧入(Nmax≦25)	圧入(Nmax≦25)Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型 6m以下	28	枚		枚/日	○		○		○	○	○	○	○	○					○	○
ガス切断工	ガス切断工 鋼矢板	71	箇所		箇所/日	○				○	○	○	○	○	○			○		○	○
油圧式杭圧入引抜機据付・解体	油圧式杭圧入引抜機据付・解体 圧入(Nmax≦25)	2	回		回/日	○				○	○	○	○	○	○					○	○
仮設材設置撤去工	仮設材設置撤去工 切梁・腹起し 設置 火打ブロック:無し	7.4	t		t/日	○				○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
仮設材設置撤去工	仮設材設置撤去工 切梁・腹起し 撤去 火打ブロック:無し	7.4	t		t/日	○				○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
仮設材設置撤去工	仮設材設置撤去工 切梁・腹起し 設置 火打ブロック:無し	10.8	t		t/日	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
仮設材設置撤去工	仮設材設置撤去工 切梁・腹起し 撤去 火打ブロック:無し	10.8	t		t/日	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
ガス切断工	ガス切断工 H鋼杭	1	箇所		箇所/日	○				○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
仮設材設置撤去工	仮設材設置撤去工 横矢板 設置	21	m2		m2/日	○				○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
仮設材設置撤去工	仮設材設置撤去工 横矢板 撤去	21	m2		m2/日	○				○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
コンクリート削孔(電動ハンマドリル40mm)	コンクリート削孔(電動ハンマドリル40mm) 削孔径(mm):10以上30未満 削孔深(mm):30以上200未満	55	孔		孔/日	○				○	○	○	○	○	○	○		○		○	○

作業不可能率

全体作業日数=

日

全体供用日数=

日

名称	規格	施工量	単位	日当り 標準作業量	単位/日	日数	算出根拠	交通誘導員	水替え	工事用道路工 器機・高圧パイプ	工事用建設工 鉄筋板	川底掘削箇所鉄筋工 器機受付・掘削板	川底掘削箇所鉄筋工 器機受付・掘削板	取付水漏れ部掘削工 器機受付・掘削板	取付水漏れ部掘削工 鉄筋板・桁受付	仮設土留工 山留付(一時撤去有)	仮設土留工 山留付(一時撤去無)	仮設土留工 山留付	仮設水漏工 高圧パイプ	施工ヤード工 掘削板	施工ヤード工 鉄筋板
客席拡張工	客席拡張工 チッピング(厚2cm以下)	5	m2		m2/日	○				○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
コンクリート	コンクリート 無筋・鉄筋構造物 コンクリートポンプ車打設 10m3以上100m3未満	1	m3		m3/日	○				○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
型枠	型枠 鉄筋・無筋構造物	6	m2		m2/日	○				○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
鉄筋工	鉄筋工 切梁のある構造物	0.02	t		t/日	○				○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
鉄筋工	鉄筋工 切梁のある構造物	0.06	t		t/日	○				○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
構造物とりこわし	構造物とりこわし 鉄筋構造物 機械施工	0.2	m3		m3/日	○				○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
[薬液注入工]																					
二重管ストレーナ工法(複相)	二重管ストレーナ工法(複相) 該当工種の計算式(1日当り施工本数)を参照	13	本		本/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
二重管ストレーナ工法(複相)	二重管ストレーナ工法(複相) 該当工種の計算式(1日当り施工本数)を参照	58	本		本/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
二重管ストレーナ工法(複相)	二重管ストレーナ工法(複相) 該当工種の計算式(1日当り施工本数)を参照	9	本		本/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
二重管ストレーナ工法(複相)	二重管ストレーナ工法(複相) 該当工種の計算式(1日当り施工本数)を参照	2	本		本/日	○			○	○	○	○	○	○	○					○	○
二重管ストレーナ工法(複相)	二重管ストレーナ工法(複相) 該当工種の計算式(1日当り施工本数)を参照	3	本		本/日	○			○	○	○	○	○	○	○					○	○
二重管ストレーナ工法(複相)	二重管ストレーナ工法(複相) 該当工種の計算式(1日当り施工本数)を参照	2	本		本/日	○			○	○	○	○	○	○	○					○	○
注入設備据付・解体	注入設備据付・解体 二重管ストレーナ工法 2セット	2	現場		現場/日	○			○	○	○	○	○	○	○					○	○
【構造物撤去工】																					
ガードレール撤去工	ガードレール撤去工 撤去(耐雪型) 土中建込用撤去 塗装品・メッキ品 Gr-C2-3E	10	m		m/日	○															
横断・転落防止柵撤去工	横断・転落防止柵撤去工 コンクリート建込撤去 門型 支柱間隔 3m	98	m		m/日	○															
構造物とりこわし	構造物とりこわし 無筋構造物 機械施工	37	m3		m3/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
構造物とりこわし	構造物とりこわし 鉄筋構造物 機械施工	3	m3		m3/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
舗装版切断	舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	11	m		m/日	○															
舗装版破砕	舗装版破砕 アスファルト舗装版 障害:無し 騒音振動対策:必要 15cm以下 舗装版破砕作業	60	m2		m2/日	○															
舗装版破砕	舗装版破砕 コンクリート舗装版 騒音振動対策:必要 15cm以下 舗装版破砕作業	190	m2		m2/日	○															
【樋門・樋管本体工】																					
[作業土工(既設撤去～基礎杭・薬注施工時)]																					
床掘り	床掘り 土砂 標準 土留方式:切梁腹起式 障害:有り	40	m3		m3/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
埋戻し	埋戻し 最小埋戻幅4m以上	150	m3		m3/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
埋戻し	埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	120	m3		m3/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
[既製杭工]																					
回転杭(NS工パイプ)施工費 ホンダゲート本体工		8	本		本/日	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
回転杭(NS工パイプ)施工費 防塵施設工		6	本		本/日	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
重機施工段取費		2	回		回/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
コンクリート	コンクリート 小型構造物 クレーン車打設	2	m3		m3/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
鉄筋工	鉄筋工 差筋及び杭頭処理	0.16	t		t/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
鉄筋工	鉄筋工 差筋及び杭頭処理	1.15	t		t/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
[矢板工]																					
圧入(Nmax≦25)	圧入(Nmax≦25) II・W・III・IV型 6m以下	6	枚		枚/日	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
油圧式杭圧入引抜機据付・解体	油圧式杭圧入引抜機据付・解体 圧入(Nmax≦25)	1	回		回/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
ガス切断工	ガス切断工 鋼矢板	6	箇所		箇所/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○

作業不可能率

全体作業日数=日

全体供用日数=日

名称	規格	施工量	単位	日当り 標準作業量	単位/日	日数	算出根拠	作業日数 交通影響管理員	作業日数 水替え	供用日数 工事用道路工 部地・高圧管	供用日数 工事用道路工 部地・高圧管	供用日数 川底側面掘削・掘削工 部地・高圧管	供用日数 川底側面掘削・掘削工 部地・高圧管	供用日数 取付水路掘削工 部地・高圧管	供用日数 取付水路掘削工 部地・高圧管	供用日数 側取土工事 山留付(一時撤去有)	供用日数 側取土工事 山留付(一時撤去無)	供用日数 側取土工事 山留付	供用日数 側取土工事 高圧管	供用日数 施工ヤード工 部地・高圧管	供用日数 施工ヤード工 部地・高圧管
鉄筋工	鉄筋工 差筋及び杭頭処理	0.01	t		t/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
[作業土工(躯体築造時～完了時)]																					
床掘り	床掘り 土砂 標準 土留方式:切梁腹起式 障害:有り	350	m3		m3/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
埋戻し	埋戻し 最大埋戻幅4m以上	10	m3		m3/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
埋戻し	埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	50	m3		m3/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
[ポンプゲート本体工]																					
均しコンクリート(鉄筋・無筋構造物)	均しコンクリート(鉄筋・無筋構造物) 無筋・鉄筋構造物 コンクリートポンプ車 打設 10m3以上100m3未満	2	m3		m3/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
型枠	型枠 鉄筋・無筋構造物	3	m2		m2/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
コンクリート(場所打函渠)	コンクリート(場所打函渠)	19	m3		m3/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
コンクリート(場所打函渠)	コンクリート(場所打函渠)	48	m3		m3/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
養生						○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
型枠	型枠 鉄筋・無筋構造物	240	m2		m2/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
鉄筋工	鉄筋工 切梁のある構造物	2.23	t		t/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
鉄筋工	鉄筋工 切梁のある構造物	6.95	t		t/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
鉄筋工	鉄筋工 切梁のある構造物	2.20	t		t/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
目地板	目地板	0.6	m2		m2/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
止水板 後付けゴム止水板	180L-EX型 下流接続函渠工-ポンプゲート本体工	11.3	m		m/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
足場工	足場工 手摺先行型枠組足場設置・撤去	220	掛m2		掛m2/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
支保工	支保工 パイプサポート支保設置撤去 f≦40	120	空m3		空m3/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
[除塵施設工]																					
均しコンクリート(鉄筋・無筋構造物)	均しコンクリート(鉄筋・無筋構造物) 無筋・鉄筋構造物 コンクリートポンプ車 打設 10m3以上100m3未満	3	m3		m3/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
型枠	型枠 鉄筋・無筋構造物	2	m2		m2/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
コンクリート(場所打函渠)	コンクリート(場所打函渠)	45	m3		m3/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
養生						○			○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
型枠	型枠 鉄筋・無筋構造物	83	m2		m2/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
型枠	型枠 鉄筋・無筋構造物	0.8	m2		m2/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
鉄筋工	鉄筋工 切梁のある構造物	1.32	t		t/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
鉄筋工	鉄筋工 切梁のある構造物	1.34	t		t/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
目地板	目地板	6	m2		m2/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
止水板	止水板 ゴム製	9	m		m/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
止水板 後付けゴム止水板	180L型 除塵施設工-取付水路工擁壁部	10.5	m		m/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
足場工	足場工 手摺先行型枠組足場設置・撤去	10	掛m2		掛m2/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
支保工	支保工 パイプサポート支保設置撤去 f≦40	20	空m3		空m3/日	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
[取付水路工(擁壁部嵩上)]																					
コンクリート(場所打函渠)	コンクリート(場所打函渠)	0.6	m3		m3/日	○			○	○	○	○	○	○	○			○		○	○
型枠	型枠 鉄筋・無筋構造物	4	m2		m2/日	○			○	○	○	○	○	○	○			○		○	○
宥座拡幅工	宥座拡幅工 チッピング(厚2cm以下)	1	m2		m2/日	○			○	○	○	○	○	○	○			○		○	○
コンクリート削孔(電動ハンマドリル40mm)	コンクリート削孔(電動ハンマドリル40mm) 削孔径(mm):10以上30未満 削 孔深(mm):30以上200未満	16	孔		孔/日	○			○	○	○	○	○	○	○			○		○	○

作業不可能率

全体作業日数=

日

全体供用日数=

日

名称	規格	施工量	単位	日当り標準作業量	単位/日	日数	算出根拠	作業日数	作業日数	供用日数	供用日数	供用日数	供用日数	供用日数	供用日数	供用日数	供用日数	供用日数	供用日数	供用日数	供用日数
鉄筋工	鉄筋工 差筋及び杭頭処理	0.007	t		t/日	○			○	○	○	○	○	○	○			○		○	○
目地板	目地板	0.3	m2		m2/日	○			○	○	○	○	○	○	○			○		○	○
止水板	止水板 ゴム製	0.9	m		m/日	○			○	○	○	○	○	○	○			○		○	○
【付属物設置工】																					
FRP製グレーチング蓋	B1000×L1200(開口:B900×L1100)	1	式		式/日	○			○	○	○	○	○	○	○			○		○	○
FRP製マンホール蓋	φ600	1	枚		枚/日	○			○	○	○	○	○	○	○			○		○	○
FRP製床板(踊り場)	B2650×L1100	1	式		式/日	○			○	○	○	○	○	○	○			○		○	○
コンクリート削孔(電動ハンマドリル40mm)	コンクリート削孔(電動ハンマドリル40mm) 削孔径(mm):10以上30未満 削孔深(mm):30以上200未満	24	孔		孔/日	○			○	○	○	○	○	○	○			○		○	○
【右側堤脚水路工】																					
U型側溝	U型側溝 L=2000mm 1000kg/個以下	5	m		m/日	○			○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
蓋版	蓋版 コンクリート・鋼製 40kg/枚以下	5	枚		枚/日	○			○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
ボックスカルバート	ボックスカルバート ボックスカルバート+基礎碎石+均しコンクリート PC鋼材による縦連結 製品長:2.0m 枠番号①	19	m		m/日	○			○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
均しコンクリート(鉄筋・無筋構造物)	均しコンクリート(鉄筋・無筋構造物) 無筋・鉄筋構造物 コンクリートポンプ車打設 10m3以上100m3未満	0.4	m3		m3/日	○			○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
型枠	型枠 鉄筋・無筋構造物	0.8	m2		m2/日	○			○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
コンクリート	コンクリート 無筋・鉄筋構造物 コンクリートポンプ車打設 10m3以上100m3未満	5	m3		m3/日	○			○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
型枠	型枠 鉄筋・無筋構造物	27	m2		m2/日	○			○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
鉄筋工	鉄筋工 一般構造物	0.23	t		t/日	○			○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
鉄筋工	鉄筋工 一般構造物	0.23	t		t/日	○			○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
足場工	足場工 手摺先行型枠組足場設置・撤去	40	掛m2		掛m2/日	○			○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
支保工	支保工 パイプサポート支保設置撤去 f≤40	0.3	空m3		空m3/日	○			○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
蓋版	蓋版 コンクリート・鋼製 40を超え170kg/枚以下	1	枚		枚/日	○			○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
コンクリート	コンクリート 無筋・鉄筋構造物 コンクリートポンプ車打設 10m3以上100m3未満	2	m3		m3/日	○			○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
型枠	型枠 鉄筋・無筋構造物	4	m2		m2/日	○			○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
コンクリート	コンクリート 小型構造物 クレーン車打設	0.5	m3		m3/日	○			○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
型枠	型枠 小型構造物	3	m2		m2/日	○			○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
コンクリート削孔(電動ハンマドリル40mm)	コンクリート削孔(電動ハンマドリル40mm) 削孔径(mm):10以上30未満 削孔深(mm):30以上200未満	20	孔		孔/日	○			○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
鉄筋工	鉄筋工 差筋及び杭頭処理	0.007	t		t/日	○			○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
【左側堤脚水路工】																					
自由勾配側溝	自由勾配側溝 L=2000mm 1000kg/個以下	16	m		m/日	○				○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
蓋版	蓋版 コンクリート・鋼製 40を超え170kg/枚以下	16	枚		枚/日	○				○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
現場打ち集水樹・街渠樹(本体)	現場打ち集水樹・街渠樹(本体) 人力打設 0.20m3以上0.36m3以下	1	箇所		箇所/日	○				○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
現場打ち集水樹・街渠樹(本体)	現場打ち集水樹・街渠樹(本体) 人力打設 0.36m3を超え0.69m3以下	1	箇所		箇所/日	○				○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
【堤防嵩上げ工】																					
掘削	掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害:無し 5,000m3未満	40	m3		m3/日	○				○	○	○	○	○	○				○	○	○
路体(築堤)盛土	路体(築堤)盛土 2.5m未満	60	m3		m3/日	○				○	○	○	○	○	○				○	○	○
法面整形	法面整形 盛土部 法面締固め:無し 現場制約:無し レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	90	m2		m2/日	○				○	○	○	○	○	○				○	○	○
法面工	法面工 張芝工 野芝・高麗芝(全面張)	30	m2		m2/日	○				○	○	○	○	○	○				○	○	○
法面工	法面工 種子散布工	60	m2		m2/日	○				○	○	○	○	○	○				○	○	○

作業不可能率

全体作業日数= 日

全体供用日数= 日

名称	規格	施工量	単位	日当り 標準作業量	単位/日	日数	算出根拠	作業日数	作業日数	供用日数	供用日数	供用日数	供用日数	供用日数	供用日数	供用日数	供用日数	供用日数	供用日数	供用日数
								交通警察署職員	水替え	工事用道路工 機・高4.9m	工事用道路工 敷設板	川島側更張部仮構工 工受付・覆工板	川島側更張部仮構工 敷設板・荷受け	取付水路部覆工 工受付・覆工板	取付水路部覆工 敷設板・荷受け	仮設土留工 山留付(一時撤去有)	仮設土留工 山留付(一時撤去無)	仮設土留工 山留付	仮設土留工 高4.9m	施工ヤード工 覆工板
鉄筋工	鉄筋工 一般構造物	1.67	t		t/日	○				○	○							○		
沓座拡張工	沓座拡張工 テッピング(厚2cm以下)	45	m2		m2/日	○				○	○							○		
コンクリート削孔(電動ハンマドリル40mm)	コンクリート削孔(電動ハンマドリル40mm) 削孔径(mm): 10以上30未満 削孔深(mm): 30以上200未満	412	孔		孔/日	○				○	○							○		
目地板	目地板	1	m2		m2/日	○				○	○							○		
止水板	止水板 ゴム製	4	m		m/日	○				○	○							○		
止水板 後付けゴム止水板	180L型	3.8	m		m/日	○				○	○							○		
支保材設置撤去	鋼材設置工	1.512	t		t/日	○				○	○							○		
支保材設置撤去	鋼材撤去工	1.512	t		t/日	○				○	○							○		
アンカーボルト設置工(準備・削孔・定着)		50	本		本/日	○				○	○							○		
アンカーボルト撤去工		50	本		本/日	○				○	○							○		
[取付水路改築工]																				
コンクリート(場所打函渠)	コンクリート(場所打函渠)	2	m3		m3/日	○				○	○							○		
型枠	型枠 鉄筋・無筋構造物	14	m2		m2/日	○				○	○							○		
鉄筋工	鉄筋工 一般構造物	0.06	t		t/日	○				○	○							○		
鉄筋工	鉄筋工 一般構造物	0.05	t		t/日	○				○	○							○		
【受電盤・ポンプ操作盤基礎工】																				
コンクリート	コンクリート 無筋・鉄筋構造物 コンクリートポンプ車打設 10m3以上100m3未満	45	m3		m3/日	○				○	○							○		
型枠	型枠 鉄筋・無筋構造物	46	m2		m2/日	○				○	○							○		
鉄筋工	鉄筋工 一般構造物	0.80	t		t/日	○				○	○							○		
支保工	支保工 パイプサポート支保設置撤去 f≦40	10	空m3		空m3/日	○				○	○							○		
基礎砕石	基礎砕石	3	m2		m2/日	○				○	○							○		
コンクリート	コンクリート 無筋・鉄筋構造物 コンクリートポンプ車打設 10m3以上100m3未満	4	m3		m3/日	○				○	○							○		
型枠	型枠 鉄筋・無筋構造物	9	m2		m2/日	○				○	○							○		
チェーン柵	H=900 着脱式	21	m		m/日	○				○	○							○		
シオセル小運搬・展開		71.4	m2		m2/日	○				○	○							○		
吸出し防止材敷設		58.6	m2		m2/日	○				○	○							○		
基礎砕石	基礎砕石	71.4	m2		m2/日	○				○	○							○		
樹脂アンカーピン打設		36	本		本/日	○				○	○							○		
【構内整備工】																				
下層路盤(車道・路肩部)	下層路盤(車道・路肩部)	266	m2		m2/日	○				○	○									
上層路盤(車道・路肩部)	上層路盤(車道・路肩部) 粒度調整砕石	266	m2		m2/日	○				○	○									
表層(車道・路肩部)	表層(車道・路肩部) 3.0m超 70mm以下	266	m2		m2/日	○				○	○									
下層路盤(歩道部)	下層路盤(歩道部)	138	m2		m2/日	○				○	○									
表層(歩道部)	表層(歩道部) 1.4m以上 70mm以下	130	m2		m2/日	○				○	○									
表層(歩道部)	表層(歩道部) 1.4m未満 50mm以下	8	m2		m2/日	○				○	○									
下層路盤(車道・路肩部)	下層路盤(車道・路肩部)	13	m2		m2/日	○				○	○									
上層路盤(車道・路肩部)	上層路盤(車道・路肩部) 粒度調整砕石	13	m2		m2/日	○				○	○									
表層(車道・路肩部)	表層(車道・路肩部) 1.4m未満 50mm以下	13	m2		m2/日	○				○	○									

作業不可能率

全体作業日数= 日

全体供用日数= 日

名称	規格	施工量	単位	日当り 標準作業量	単位/日	日数	算出根拠	作業日数	作業日数	供用日数	供用日数	供用日数	供用日数	供用日数	供用日数	供用日数	供用日数	供用日数	供用日数	供用日数	供用日数
U型側溝	U型側溝 L=2000mm 1000kg/個以下	31	m		m/日	○				○	○										
横断・転落防止柵設置工	横断・転落防止柵設置工 プレキャストコンクリートブロック建込 門型 支柱 間隔 3m	5	m		m/日	○				○	○										
金網・支柱(立入防止柵)	金網・支柱(立入防止柵) 基礎ブロック 支柱間隔:1.5m	5	m		m/日	○				○	○										
基礎ブロック、鋼管基礎	基礎ブロック、鋼管基礎 基礎ブロック 金網柵 基礎砕石有り	4	基		基/日	○				○	○										
門扉	門扉 両開き	1	基		基/日	○				○	○										
基礎ブロック、鋼管基礎	基礎ブロック、鋼管基礎 基礎ブロック 門扉 基礎砕石有り	1	基		基/日	○				○	○										
基礎ブロック、鋼管基礎	基礎ブロック、鋼管基礎 基礎ブロック 門扉 基礎砕石有り	2	基		基/日	○				○	○										
金網・支柱(立入防止柵)	金網・支柱(立入防止柵) 基礎ブロック 支柱間隔:1.5m	9	m		m/日	○				○	○										
金網・支柱(立入防止柵)	金網・支柱(立入防止柵) 基礎ブロック 支柱間隔:2m	10	m		m/日	○				○	○										
フェンス	H2100×@2000 ベースプレート仕様(平坦)	2	m		m/日	○				○	○										
基礎ブロック、鋼管基礎	基礎ブロック、鋼管基礎 基礎ブロック 金網柵 基礎砕石有り	9	基		基/日	○				○	○										
基礎ブロック、鋼管基礎	基礎ブロック、鋼管基礎 基礎ブロック 金網柵 基礎砕石有り	2	基		基/日	○				○	○										
歩車道境界ブロック据付	歩車道境界ブロック据付 各種(600mm超1000mm以下、50kg以上150kg未満) ブロック+基礎砕石	10	m		m/日	○				○	○										
コンクリート	コンクリート 小型構造物 人力打設	0.1	m3		m3/日	○				○	○										

	交通調整警備員	水替え	工事用道路工 機材・高圧洗浄	工事用道路工 敷鉄板	川島側既設部仮構工 器工受桁・掘工板	川島側既設部仮構工 敷鉄板・桁受け	取付水溝部置工 器工受桁・掘工板	取付水溝部置工 敷鉄板・桁受け	假設土留工 山留材(一時撤去有)	假設土留工 山留材(一時撤去無)	仮水堀工 山留材	仮埋水堀工 高圧洗浄	施工ヤード工 掘工板	施工ヤード工 敷鉄板
集計結果	37.0	114.1	286.4	284.5	210.7	210.7	216.6	217.2	144.9	52.0	175.3	95.1	205.7	205.0

仮設材質料 減額補正検討資料

* 賃料の算定において、供用日数により単価が変動することから、直近上位期間の満たない場合に逆転現象が生じる。

例：鋼矢板3型を170日間賃借した場合

通常の場合：180日以内の単価	円/ t ・ 日	170 t ・ 日 =	円
上位の場合：360日以内単価	円/ t ・ 日	181 t ・ 日 =	円
ゆえに、180日以内の場合の最長供用日数は	169.7	≒	169 日となる。

【対象：H形鋼(山留主部材) 250~400型

175 日間】

新潟県土木工事等基礎単価で適用される「規格」欄に記載されている

日以内 単価 円/ t ・ 日

直近上位（すぐ下の欄）のデータ

日以内 単価 円/ t ・ 日

ゆえに、本検討を行った最長供用期間は 日

*** 赤枠の部分に各自、数値を入力して下さい。**

○上記より、最長供用期間は161日のため、減額補正を適用する。

【対象：鋼製山留材[部品(賃料)]

175 日間】

新潟県土木工事等基礎単価で適用される「規格」欄に記載されている

日以内 単価 円/ t ・ 日

直近上位（すぐ下の欄）のデータ

日以内 単価 円/ t ・ 日

ゆえに、本検討を行った最長供用期間は 日

*** 赤枠の部分に各自、数値を入力して下さい。**

○上記より、最長供用期間は162日のため、減額補正を適用する。

施工フロー

